

2-4. 写 真 管 理 基 準

目 次

写真管理基準	3
I. 撮影箇所一覧表	I - 1
II. 品質管理写真撮影箇所一覧表	II - 1
III. 出来形管理写真撮影箇所一覧表	
第1編 共通編	III - 1
第3編 土木工事共通編	III - 4
第6編 河川編	III - 32
第7編 河川海岸編	III - 36
第8編 砂防編	III - 39
第9編 ダム編	III - 41
第10編 道路編	III - 43
その他	III - 50

写真管理基準

1. 総 則

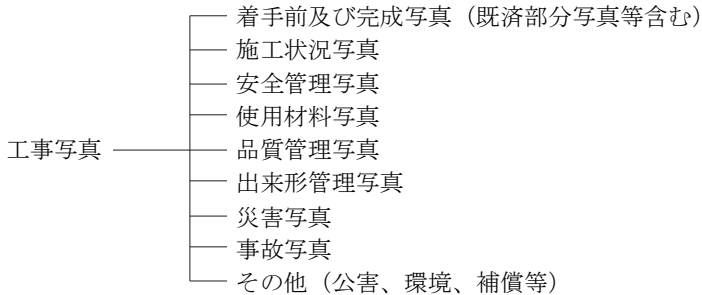
1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点(位置)
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報（写真管理項目-施工管理値）に必要事項を記入し、整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

写真管理基準

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略する。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督員または発注者支援技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化について』(平成29年1月30日付け、国技建管第10号)に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。
高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 撮影の留意事項

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など)を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、又は、紙媒体に印刷し監督員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。

写真管理基準

4. その他

撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義

- (1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (2) フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、「写真管理基準(令和元年7月)」を参考に監督員と提出頻度等を協議の上、取扱いを定めるものとする。

※本基準に示す品質管理の工種番号は、「土木工事施工管理基準及び規格値」

(品質管理基準及び規格値)に示す工種番号と整合を取っている。

また、本基準に示す出来形管理の編章節番号は、「土木工事施工管理基準及び規格値」(出来形管理基準及び規格値)に示すの編章節と整合を取っている。

撮影箇所一覧表（全体）

区分		写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前 1 回 〔着手前〕	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後 1 回 〔完成後〕	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月 1 回 〔月末〕	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に 1 回 〔施工前後〕	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）における空中写真測量（UAV）」による場合は、撮影毎に 1 回（写真測量に使用したすべての画像（ICONフォルダに格納）） 〔発生時〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）における地上型レーザースキャナ（TLS）、地上移動体搭載型レーザースキャナ（地上移動体搭載型LS）、無人航空機搭載型レーザースキャナ（UAVレーザー）、TS（ノンプリズム方式）、TS等光波方式、RTK-GNSS」による場合は、計測毎に 1 回 〔発生時〕	工事打合簿に添付する。

撮影箇所一覧表（全体）

区分		写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	
		監視員交通整理状況	各1回 〔作業中〕	
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回 〔実施中〕	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回 〔使用前〕	品質証明に添付する。
		品質証明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回	
		検査実施状況	各品目毎に1回 〔検査時〕	
品質管理		別添 撮影箇所一覧表（品質管理）に準じて撮影		
		不可視部分の施工	適宜	
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表（出来形管理）に準じて撮影		
		不可視部分の施工	適宜	
		出来形管理基準が定められていない	監督職員と協議事項	
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	発生前は付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回 〔設置後〕	

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コン クリートダム・覆工コン クリート・吹付けコンク リートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	圧縮強度試験に使用 したコンクリートの 供試体が、当該現場 の供試体であること が確認できるもの
		スランプ試験		
		コンクリートの圧縮強度試験		
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]	
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	
	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コン クリートダム・覆工コン クリート・吹付けコンク リートを除く) (施工後試験)	コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	コンクリート舗装の場合 適用
		コンクリートの洗い分析試験		
		ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)構造物工編(試行)」により施工完了 時の状況(全周)の提出によりひび割れ調査写 真を代替することができる。	
		テストハンマーによる強度 推定調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]	
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]	
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	
		超音波探傷検査		
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	
		浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]	
		放射線透過試験		
		超音波探傷試験		
		水セメント比試験		
		セメントミルクの圧縮強度試験		
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		ブルフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]	
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
		土の液性限界・塑性限界 試験		
		含水比試験		
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		粒度		
		平板載荷試験		
		土の液性限界・塑性限界 試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
		含水比試験		
6	アスファルト安定処理路	アスファルト舗装に準拠		
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	
		現場密度の測定		
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回	
		アスファルト量抽出粒度分析試験	[試験実施中]	
		温度測定		
		水浸ホイルラッキング試験		
		ホイルラッキング試験		
		テベリング試験		
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回	
		温度測定	[試験実施中]	
		外観検査		
		すべり抵抗試験		
9	転圧コンクリート (施工)	コンスタシ-VC試験	コンクリートの種類毎に1回	
		マニール突き固め試験	[試験実施中]	
		テーパー突き固め試験		
		コンクリートの曲げ強度試験		
		温度測定 (コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回	
		現場密度の測定	[温度測定中]	
		コアによる密度測定	コンクリートの種類毎に1回	
			[試験実施中]	
10	ガスアスファルト舗装 (プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回	
		リュウ流動性試験240℃	[試験実施中]	
		ホイルラッキング試験		
		曲げ試験		
		粒度		
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
	ガスアスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回	
			[試験実施中]	
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回	
			[試験実施中]	
			ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	
		ブルーフローリング	路床毎に1回	
		平板載荷試験	[試験実施中]	
		現場CBR試験		
		含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合	
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施	
			[試験実施中]	
		含水比試験	降雨後または含水比の変化が認められた場合	
		現場密度の測定	材質毎に1回	
			[試験実施中]	
			ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	
		ブルーフローリング	工種毎に1回	
13	固結工		[試験実施中]	
		平板載荷試験	材質毎に1回	
		現場CBR試験	[試験実施中]	
		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施	
			[試験実施中]	
		土の一軸圧縮試験	材質毎に1回	
			[試験実施中]	

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
14	アンカー工	モタルのフロー値試験 モタルの圧縮強度試験 多サイクル確認試験 1 サイクル確認試験	適宜 [試験実施中]	
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真管理 を省略する	
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制 エンクリの圧縮強度試験 スランブ試験 空気量測定 コアによる強度試験	配合毎に1回 [試験実施中] 品質に変化がみられた場合 [試験実施中] 品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	モタルを除く
17	現場吹付法砕工	エンクリの圧縮強度試験 塩化物総量規制 コアによる強度試験 スランブ試験 空気量測定 ロックボルトの引抜き試験	配合毎に1回 [試験実施中] 品質に異常が認められた場合 [試験実施中] 品質に変化がみられた場合 [試験実施中] 試験毎に1回 [試験実施中]	モタルを除く
18 19	河川・海岸土工(施工)	現場密度の測定 土の含水比試験 コーン指数の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真管理 を省略する 含水比に変化が認められた場合 [試験実施中] トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真管理 を省略する	
21	道路土工 (施工)	現場密度の測定 ブルーローリング 平板載荷試験 現場CBR試験 含水比試験 コーン指数の測定 たわみ量	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真管理 を省略する 工種毎に1回 [試験実施中] 土質毎に1回 [試験実施中] 降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中] トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中] ブルーローリングの不良箇所について実施 [試験実施中]	
22	捨石工	岩石の見掛比重 岩石の吸水率 岩石の圧縮強さ 岩石の形状	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
23	コンクリートダム (材料)	アルカリ 骨材反応対策	採取地毎に1回	
		骨材の密度及び吸水率試験	[試験実施中]	
		骨材のふるい分け試験		
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回	
		モルタルの圧縮強度による砂の試験	[試験実施中]	
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に1回	
		粗骨材中の軟石量試験	[試験実施中]	
		骨材中の粘土塊量の試験		
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験		
		粗骨材のすりへり試験		
		骨材中の比重1.95の液体に浮く粒子の試験		
		練り混ぜ水の水質試験		
	コンクリートダム (施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認で 気温・コンクリー
			[試験実施中]	
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合	
			[試験実施中]	
		空気量測定		
		エンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回	
			[試験実施中]	
		温度測定		
24	覆工コンクリート (NATM)	エンクリートの単位容積質量試験		
		エンクリートの洗い分析試験		
		エンクリートのブリーディング試験		
		エンクリートの引張強度試験		
		エンクリートの曲げ強度試験		
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合	
			[試験実施中]	
25	吹付けコンクリート (NATM)	エンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認で
			[試験実施中]	
		塩化物総量規制	配合毎に1回	
			[試験実施中]	
		空気量測定	品質に変化が認められた場合	
			[試験実施中]	
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合	
26	ロックボルト (NATM)	エンクリートの洗い分析試験	[試験実施中]	
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合	
			[試験実施中]	
		空気量測定	品質に異常が認められた場合	
			[試験実施中]	
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合	
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長40mごとに1回	
26	ロックボルト (NATM)	モタルの圧縮強度試験	配合毎に1回	
			[試験実施中]	
		モタルのフロー値試験	適宜	
		ロックボルトの引抜き試験	適宜	

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
27	路上再生路盤工(材料)	修正CBR試験	材料毎に1回 [試験実施中]	
		土の粒度試験		
		土の含水比試験		
		土の液性限界・塑性限界試験		
	路上再生路盤工(施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]	
		土の一軸圧縮試験		
CAEの一軸圧縮試験				
含水比試験				
28	路上表層再生工(材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 [試験実施中]	
		旧アスファルトの軟化点		
	路上表層再生工(施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]	
		温度測定		
		かきほぐし深さ		
		粒度		
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
29	排水性舗装工・透水性舗装工(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
		水浸ホイールラッキング試験		
		ホイールラッキング試験		
		ラベリング試験		
	排水性舗装工・透水性舗装工(舗設現場)	カンタプロ試験	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		温度測定		
		現場透水試験		
		現場密度の測定		
		外観検査		
30	プラント再生舗装工(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		再生アスファルト量		
		水浸ホイールラッキング試験		
		ホイールラッキング試験		
		ラベリング試験		
	プラント再生舗装工(舗設現場)	外観検査	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	
		温度測定		
31	工場製作工	現場密度の測定	1橋に1回又は1工事に1回[現物照合時] 当初の物件で1枚[切出時]※他は焼き増し 1橋に1回又は1工事に1回[試験実施中]	
		外観検査		
		在庫品切出		
		機械試験		
32	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 [試験実施中]	
		ノッチ深さ		
		スラグ		
		上縁の溶け		
		平面度		
		ベベル精度		
		真直度		

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	
33	溶接工	引張試験	試験毎に1回 [試験実施中]	
		型曲げ試験		
		衝撃試験		
		マクロ試験		
		非破壊試験		
		突合せ継手の内部欠陥に 対する検査		
		外観検査		
		曲げ試験		
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベル について[試験実施中]	
34	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 [試験実施中]	
		土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]	

撮影箇所（出来形管理）索引

【第1編 共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 土工				
第3節 河川土工・海岸・砂防土工	1-2-3-2掘削工			Ⅲ-1
	1-2-3-3盛土工			Ⅲ-1
	1-2-3-4盛土補強工	補強土（テールアルメ） 壁工法		Ⅲ-1
		多数アンカー式補強土工 法		Ⅲ-1
		ジオテキスタイルを用いた 補強土工法		Ⅲ-1
	1-2-3-5法面整形工	盛土部		Ⅲ-2
	1-2-3-6堤防天端工			Ⅲ-2
第4節 道路土工	1-2-4-2掘削工			Ⅲ-2
	1-2-4-3路体盛土工			Ⅲ-3
	1-2-4-4路床盛土工			Ⅲ-3
	1-2-4-5法面整形工	盛土部		Ⅲ-3
第3章 無筋、鉄筋コンクリート				
第7節 鉄筋工	1-3-7-4組立て	組立て		Ⅲ-3
		組立て ※新設のコンクリート構造物の 内、橋梁上部工事と下部 工事		Ⅲ-3

撮影箇所（出来形管理）索引

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 一般施工				
第3節 共通の工種	3-2-3-4矢板工 〔指定仮設・任意仮設は 除く〕	鋼矢板 軽量鋼矢板 コンクリート矢板 広幅鋼矢板 可とう鋼矢板		Ⅲ-4 Ⅲ-4 Ⅲ-4 Ⅲ-4 Ⅲ-4
	3-2-3-5縁石工	縁石・アスカーブ		Ⅲ-4
	3-2-3-6小型標識工			Ⅲ-4
	3-2-3-7防止柵工	立入防止柵 転落（横断）防止柵 車止めポスト		Ⅲ-4 Ⅲ-4 Ⅲ-4
	3-2-3-8路側防護柵工	ガードレール ガードケーブル		Ⅲ-4 Ⅲ-4
	3-2-3-9区画線工			Ⅲ-5
	3-2-3-10道路付属物工	視線誘導標 距離標		Ⅲ-5 Ⅲ-5
	3-2-3-11コンクリート面塗 装工			Ⅲ-5
	3-2-3-12プレテンション桁 製作工（購入工）	けた橋 スラブ橋		Ⅲ-5 Ⅲ-5
	3-2-3-13ポストテンション 桁製作工			Ⅲ-5
	3-2-3-14プレキャストセグ メント製作工（購入工）			Ⅲ-6
	3-2-3-14プレキャストセグ メント主桁組立工			Ⅲ-6
	3-2-3-15P Cホロースラブ 製作工			Ⅲ-6
	3-2-3-16P C箱桁製作工			Ⅲ-6
	3-2-3-16P C押出し箱桁製 作工			Ⅲ-6
	3-2-3-17根固めブロック			Ⅲ-7
	3-2-3-18沈床工			Ⅲ-7
	3-2-3-19捨石工			Ⅲ-7
	3-2-3-22階段工			Ⅲ-7
	3-2-3-24伸縮装置工	ゴムジョイント 鋼製フィンガージョイン ト		Ⅲ-7 Ⅲ-7
	3-2-3-26多自然型護岸工	巨石張り 巨石積み かごマット		Ⅲ-8 Ⅲ-8 Ⅲ-8
	3-2-3-27羽口工	じゃかご ふとんかご かご枠		Ⅲ-8 Ⅲ-8 Ⅲ-8
	3-2-3-28プレキャストカル バート工	プレキャストボックス工 プレキャストパイプ工		Ⅲ-8 Ⅲ-8

撮影箇所（出来形管理）索引

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3節 共通の工種	3-2-3-29側溝工	プレキャストU型側溝		Ⅲ－8
		L型側溝		Ⅲ－8
		自由勾配側溝		Ⅲ－8
		管渠		Ⅲ－8
		場所打水路工		Ⅲ－9
		9暗渠工		Ⅲ－9
	3-2-3-30集水樹工			Ⅲ－9
	3-2-3-31現場塗装工			Ⅲ－9
第4節 基礎工	3-2-4-1一般事項	切込砂利		Ⅲ－9
		砕石基礎工		Ⅲ－9
		割ぐり石基礎工		Ⅲ－9
		均しコンクリート		Ⅲ－9
	3-2-4-3基礎工護岸	現場打		Ⅲ－9
		プレキャスト		Ⅲ－10
	3-2-4-4既製杭工	既製コンクリート杭		Ⅲ－10
		鋼管杭		Ⅲ－10
		H鋼杭		Ⅲ－10
		鋼管ソイルセメント杭		Ⅲ－10
	3-2-4-5場所打杭工			Ⅲ－10
	3-2-4-6深礎工			Ⅲ－10
	3-2-4-7オープンケーソン基礎工			Ⅲ－11
	3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工			Ⅲ－11
	3-2-4-9鋼管矢板基礎工			Ⅲ－11
第5節 石・ブロック積（張）工	3-2-5-3コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		Ⅲ－11
		コンクリートブロック張り		Ⅲ－11
		連節ブロック張り		Ⅲ－12
		天端保護ブロック		Ⅲ－12
	3-2-5-4緑化ブロック工			Ⅲ－12
	3-2-5-5石積（張）工			Ⅲ－12
第6節 一般舗装工	3-2-6-7アスファルト舗装工	下層路盤工		Ⅲ－13
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		Ⅲ－13
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		Ⅲ－13
		加熱アスファルト安定処理工		Ⅲ－14
		基層工		Ⅲ－14
		表層工		Ⅲ－14

撮影箇所（出来形管理）索引

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 一般舗装工	3-2-6-8半たわみ性舗装工	下層路盤工		Ⅲ-14
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		Ⅲ-15
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		Ⅲ-15
		加熱アスファルト安定処理工		Ⅲ-15
		基層工		Ⅲ-15
		表層工		Ⅲ-16
	3-2-6-9排水性舗装工	下層路盤工		Ⅲ-16
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		Ⅲ-16
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		Ⅲ-17
		加熱アスファルト安定処理工		Ⅲ-17
		基層工		Ⅲ-17
		表層工		Ⅲ-17
	3-2-6-10透水性舗装工	路盤工		Ⅲ-18
		表層工		Ⅲ-18
	3-2-6-11グースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		Ⅲ-18
		基層工		Ⅲ-18
		表層工		Ⅲ-18
	3-2-6-12コンクリート舗装工	下層路盤工		Ⅲ-19
		粒度調整路盤工		Ⅲ-19
		セメント（石灰・瀝青）安定処理工		Ⅲ-19
		アスファルト中間層		Ⅲ-20
		コンクリート舗装版工		Ⅲ-20
		転圧コンクリート版工（下層路盤工）		Ⅲ-20
		転圧コンクリート版工（粒度調整路盤工）		Ⅲ-20
		転圧コンクリート版工（セメント（石灰・瀝青）安定処理工）		Ⅲ-21
		転圧コンクリート版工（アスファルト中間層）		Ⅲ-21
		転圧コンクリート版工		Ⅲ-21
		連続鉄筋コンクリート舗装工		Ⅲ-21
	3-2-6-13薄層カラー舗装工	下層路盤工		Ⅲ-22
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		Ⅲ-22
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		Ⅲ-22
		加熱アスファルト安定処理工		Ⅲ-22
		基層工		Ⅲ-22

撮影箇所（出来形管理）索引

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 一般舗装工	3-2-6-14ブロック舗装工	下層路盤工		Ⅲ-23
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		Ⅲ-23
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		Ⅲ-23
		加熱アスファルト安定処理工		Ⅲ-23
		基層工		Ⅲ-23
	3-2-6-15路面切削工			Ⅲ-24
	3-2-6-16舗装打換え工			Ⅲ-24
	3-2-6-17オーバーレイ工			Ⅲ-24
第7節 地盤改良工	3-2-7-2路床安定処理工			Ⅲ-24
	3-2-7-3置換工			Ⅲ-24
	3-2-7-5パイルネット工			Ⅲ-24
	3-2-7-6サンドマット工			Ⅲ-25
	3-2-7-7バーチカルドレーン工	サンドドレーン工		Ⅲ-25
		ペーパードレーン工		Ⅲ-25
		袋詰式サンドドレーン工		Ⅲ-25
	3-2-7-8締固め改良工	サンドコンパクションパイル工		Ⅲ-25
	3-2-7-9固結工	粉末噴射攪拌工		Ⅲ-25
		高圧噴射攪拌工		Ⅲ-25
		スラリー攪拌工		Ⅲ-25
		生石灰パイル工		Ⅲ-25
		中層混合処理		Ⅲ-25
第10節 仮設工	3-2-10-5土留・仮締切工	H鋼杭		Ⅲ-25
		鋼矢板		Ⅲ-25
		アンカー工		Ⅲ-25
		連節ブロック張り工		Ⅲ-26
		締切盛土		Ⅲ-26
		中詰盛土		Ⅲ-26
	3-2-10-9地中連続壁工（壁式）			Ⅲ-26
	3-2-10-10地中連続壁工（柱列式）			Ⅲ-26
	3-2-10-22法面吹付工			Ⅲ-26
第12節 工場製作工	3-2-12-1鑄造費	金属支承工		Ⅲ-27
		大型ゴム支承工		Ⅲ-27
	3-2-12-1仮設材製作工			Ⅲ-27
	3-2-12-1刃口金物製作工			Ⅲ-27

撮影箇所（出来形管理）索引

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第12節 工場製作工	3-2-12-3桁製作工	仮組立による検査を実施する場合		Ⅲ-27
		シミュレーション仮組立検査を行う場合		Ⅲ-27
		仮組立検査を実施しない場合		Ⅲ-27
		鋼製堰堤製作工（仮組立時）		Ⅲ-28
	3-2-12-4検査路製作工			Ⅲ-28
	3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工			Ⅲ-28
	3-2-12-6落橋防止装置製作工			Ⅲ-28
	3-2-12-7橋梁用防護柵製作工			Ⅲ-28
	3-2-12-8アンカーフレーム製作工			Ⅲ-28
	3-2-12-9プレビーム用桁製作工			Ⅲ-29
第13節 橋梁架設工	3-2-13-1架設工	クレーン架設		Ⅲ-29
		ケーブルクレーン架設		Ⅲ-29
		ケーブルエレクション架設		Ⅲ-29
		架設桁架設		Ⅲ-29
		送出し架設		Ⅲ-29
		トラバークレーン架設		Ⅲ-29
第14節 法面工	3-2-14-2植生工	種子散布工		Ⅲ-29
		張芝工		Ⅲ-29
		筋芝工		Ⅲ-29
		市松芝工		Ⅲ-29
		植生シート工		Ⅲ-29
		植生マット工		Ⅲ-29
		植生筋工		Ⅲ-29
		人工張芝工		Ⅲ-29
		植生穴工		Ⅲ-29
		植生基材吹付工		Ⅲ-29
	3-2-14-3吹付工	客土吹付工		Ⅲ-29
		コンクリート		Ⅲ-30
	3-2-14-4法枠工	モルタル		Ⅲ-30
		現場打法枠工		Ⅲ-30
		現場吹付法枠工		Ⅲ-30
第15節 擁壁工	3-2-14-6アンカー工	プレキャスト法枠工		Ⅲ-30
				Ⅲ-30
	3-2-15-1場所打擁壁工			Ⅲ-30
	3-2-15-2プレキャスト擁壁工			Ⅲ-30

撮影箇所（出来形管理）索引

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第15節 擁壁工	3-2-15-3盛土補強工	補強土（テールアルメ） 壁工法		Ⅲ－31
		多数アンカー式補強土工 法		Ⅲ－31
		ジオテキスタイルを用い た補強土工法		Ⅲ－31
	3-2-15-4井桁ブロック工			Ⅲ－31
第16節 浚渫工	3-2-16-3浚渫船運転工	ポンプ浚渫船		Ⅲ－31
		グラブ船		Ⅲ－31
		バックホウ浚渫船		Ⅲ－31
第18節 床版工	3-2-18-1床版・横組工			Ⅲ－31

撮影箇所（出来形管理）索引

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 築堤・護岸				
第5節 護岸基礎工	6-1-5-3基礎工		3-2-4-3基礎工（護岸）	Ⅲ－9
	6-1-5-4矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ－4
第6節 矢板護岸工	6-1-6-3笠コンクリート工		3-2-5-3コンクリートブロック工（天端保護ブロック）	Ⅲ－12
	6-1-6-4矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ－4
第7節 法覆護岸工	6-1-7-3コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ－11
第7節 法覆護岸工	6-1-7-4護岸付属物工			Ⅲ－32
	6-1-7-5緑化ブロック工		3-2-5-4緑化ブロック工	Ⅲ－12
	6-1-7-6環境護岸ブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ－11
	6-1-7-7石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ－12
	6-1-7-8法枠工		3-2-14-4法枠工	Ⅲ－30
	6-1-7-9多自然型護岸工	巨石張り	3-2-3-26巨石張り、巨石積み	Ⅲ－8
		巨石積み	3-2-3-26巨石張り、巨石積み	Ⅲ－8
		かごマット	3-2-3-26かごマット	Ⅲ－8
	6-1-7-10吹付工		3-2-14-3吹付工	Ⅲ－30
	6-1-7-11植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ－29
	6-1-7-12覆土工		1-2-4-5法面整形工	Ⅲ－3
	6-1-7-13羽口工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
		かご枠	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
		連節ブロック張り	3-2-5-3-2連節ブロック張り	Ⅲ－11
第8節 擁壁護岸工	6-1-8-3場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ－30
	6-1-8-4プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	Ⅲ－30
第9節 根固め工	6-1-9-3根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック	Ⅲ－7
	6-1-9-5沈床工		3-2-3-18沈床工	Ⅲ－7
	6-1-9-6捨石工		3-2-3-19捨石工	Ⅲ－7
	6-1-9-7かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
第10節 水制工	6-1-10-3沈床工		3-2-3-18沈床工	Ⅲ－7
	6-1-10-4捨石工		3-2-3-19捨石工	Ⅲ－7
	6-1-10-5かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
	6-1-10-8杭出し水制工			Ⅲ－32
第11節 付帯道路工	6-1-11-3路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ－4
	6-1-11-5アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	Ⅲ－13
	6-1-11-6コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	Ⅲ－19
	6-1-11-7薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	Ⅲ－22
	6-1-11-8ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	Ⅲ－23

撮影箇所（出来形管理）索引

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第11節 付帯道路工	6-1-11-9側溝工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ－8
	6-1-11-10集水樹工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ－9
	6-1-11-11縁石工		3-2-3-5縁石工	Ⅲ－4
	6-1-11-12区画線工		3-2-3-9区画線工	Ⅲ－5
第12節 付帯道路施設工	6-1-12-3道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	Ⅲ－5
	6-1-12-4標識工		3-2-3-6小型標識工	Ⅲ－4
第13節 光ケーブル配管工	6-1-13-3配管工			Ⅲ－32
	6-1-13-4ハンドホール工			Ⅲ－32
第2章 浚渫（川）				
第2節 浚渫工（ポンプ浚渫船）	6-2-2-2浚渫船運転工（民船・官船）		3-2-16-3浚渫船運転工	Ⅲ－31
第3節 浚渫工（グラブ船）	6-2-3-2浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	Ⅲ－31
第4節 浚渫工（バックホウ浚渫船）	6-2-4-2浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	Ⅲ－31
第3章 樋門・樋管				
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ－10
	6-3-5-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ－10
	6-3-5-5矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ－4
	6-3-5-6函渠工	本体工		Ⅲ－32
		ヒューム管		Ⅲ－32
		P C管		Ⅲ－32
		コルゲートパイプ		Ⅲ－32
		ダクタイル鋳鉄管		Ⅲ－32
		P C函渠	3-2-3-28プレキャストカルバート工	Ⅲ－8
	6-3-5-7翼壁工			Ⅲ－32
	6-3-5-8水叩工			Ⅲ－33
第6節 護床工	6-3-6-3根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック	Ⅲ－7
	6-3-6-5沈床工		3-2-3-18沈床工	Ⅲ－7
	6-3-6-6捨石工		3-2-3-19捨石工	Ⅲ－7
	6-3-6-7かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
第7節 水路工	6-3-7-3側溝工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ－9
	6-3-7-4集水樹工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ－9
	6-3-7-5暗渠工		3-2-3-29暗渠工	Ⅲ－9
	6-3-7-6樋門接続暗渠工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	Ⅲ－8
第8節 付属物設置工	6-3-8-3防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ－4
	6-3-8-7階段工		3-2-3-22階段工	Ⅲ－7
第4章 水門				
第3節 工場製作工	6-4-3-3桁製作工		3-2-12-3桁製作工	Ⅲ－27
	6-4-3-4鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	Ⅲ－28
	6-4-3-5落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	Ⅲ－28
	6-4-3-6鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作工	Ⅲ－29
	6-4-3-7橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	Ⅲ－28

撮影箇所（出来形管理）索引

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3節 工場製作工	6-4-3-8鋳造費		3-2-12-1鋳造費	Ⅲ-27
	6-4-3-9仮設材製作工		3-2-12-1仮設材製作工	Ⅲ-27
	6-4-3-10工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	Ⅲ-29
第6節 水門本体工	6-4-6-4既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	6-4-6-5場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	6-4-6-6矢板工（遮水矢板）		3-2-3-4矢板工（遮水矢板）	Ⅲ-4
	6-4-6-7床版工			Ⅲ-33
	6-4-6-8堰柱工			Ⅲ-33
	6-4-6-9門柱工			Ⅲ-33
	6-4-6-10ゲート操作台工			Ⅲ-33
	6-4-6-11胸壁工			Ⅲ-33
	6-4-6-12翼壁工		6-3-5-7翼壁工	Ⅲ-32
第7節 護床工	6-4-6-13水叩工		6-3-5-8水叩工	Ⅲ-33
	6-4-7-3根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック	Ⅲ-7
	6-4-7-5沈床工		3-2-3-18沈床工	Ⅲ-7
	6-4-7-6捨石工		3-2-3-19捨石工	Ⅲ-7
	6-4-7-7かご工	じゃかご ふとんかご	3-2-3-27じゃかご 3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ-8 Ⅲ-8
第8節 付属物設置工	6-4-8-3防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ-4
	6-4-8-8階段工		3-2-3-22階段工	Ⅲ-7
第9節 鋼管理橋上部工	6-4-9-4架設工（クレーン架設）		3-2-13-1架設工（クレーン架設）	Ⅲ-29
	6-4-9-5架設工（ケーブルクレーン架設）		3-2-13-1架設工（ケーブルクレーン架設）	Ⅲ-29
	6-4-9-6架設工（ケーブルエレクション架設）		3-2-13-1架設工（ケーブルエレクション架設）	Ⅲ-29
	6-4-9-7架設工（架設桁架設）		3-2-13-1架設工（架設桁架設）	Ⅲ-29
	6-4-9-8架設工（送出し架設）		3-2-13-1架設工（送出し架設）	Ⅲ-29
	6-4-9-9架設工（トラベラークレーン架設）		3-2-13-1架設工（トラベラークレーン架設）	Ⅲ-29
	6-4-9-10支承工	鋼製支承 ゴム支承		Ⅲ-33 Ⅲ-33
第10節 橋梁現場塗装工	6-4-10-2現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	Ⅲ-9
第11節 床版工	6-4-11-2床版工		3-2-18-1床版・横組工	Ⅲ-31
第12節 橋梁付属物工（鋼管理橋）	6-4-12-2伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	Ⅲ-7
	6-4-12-4地覆工			Ⅲ-33
	6-4-12-5橋梁用防護柵工			Ⅲ-33
	6-4-12-6橋梁用高欄工			Ⅲ-33
	6-4-12-7検査路工			Ⅲ-34
第14節 コンクリート管理橋上部工（PC橋）	6-4-14-2プレテンション桁製作工（購入工）		3-2-3-12プレテンション桁製作工（購入工）	Ⅲ-5
	6-4-14-3ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁製作工	Ⅲ-5
	6-4-14-4プレキャストセグメント製作工（購入工）		3-2-3-14プレキャストセグメント製作工（購入工）	Ⅲ-6
	6-4-14-5プレキャストセグメント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	Ⅲ-6

撮影箇所（出来形管理）索引

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第14節 コンクリート管理橋上部工（P C 橋）	6-4-14-6支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ－33
	6-4-14-7架設工（クレーン架設）		3-2-13-1架設工（クレーン架設）	Ⅲ－29
	6-4-14-8架設工（架設桁架設）		3-2-13-1架設工（架設桁架設）	Ⅲ－29
	6-4-14-9床版・横組工		3-2-18-1床版・横組工	Ⅲ－31
	6-4-14-10落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ－49
第15節 コンクリート管理橋上部工（P C ホロースラブ橋）	6-4-15-2架設支保工（固定）		3-2-13-1架設工	Ⅲ－29
	6-4-15-3支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ－33
	6-4-15-4落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ－49
	6-4-15-5 P C ホロースラブ製作工		3-2-3-15 P C ホロースラブ製作工	Ⅲ－6
第16節 橋梁付属物工（コンクリート管理橋）	6-4-16-2伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	Ⅲ－7
	6-4-16-4地覆工		6-4-12-4地覆工	Ⅲ－33
	6-4-16-5橋梁用防護柵工		6-4-12-5橋梁用防護柵工	Ⅲ－33
	6-4-16-6橋梁用高欄工		6-4-12-6橋梁用高欄工	Ⅲ－33
	6-4-16-7検査路工		6-4-12-7検査路工	Ⅲ－34
第18節 舗装工	6-4-18-5アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	Ⅲ－13
	6-4-18-6半たわみ性舗装工		3-2-6-8半たわみ性舗装工	Ⅲ－14
	6-4-18-7排水性舗装工		3-2-6-9排水性舗装工	Ⅲ－16
	6-4-18-8透水性舗装工		3-2-6-10透水性舗装工	Ⅲ－18
	6-4-18-9グースアスファルト舗装工		3-2-6-11グースアスファルト舗装工	Ⅲ－18
	6-4-18-10コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	Ⅲ－19
	6-4-18-11薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	Ⅲ－22
	6-4-18-12ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	Ⅲ－23
第5章 堰				
第3節 工場製作工	6-5-3-3刃口金物製作工		3-2-12-1刃口金物製作工	Ⅲ－27
	6-5-3-4桁製作工		3-2-12-3桁製作工	Ⅲ－27
	6-5-3-5検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	Ⅲ－28
	6-5-3-6鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	Ⅲ－28
	6-5-3-7落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	Ⅲ－28
	6-5-3-8鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作工	Ⅲ－29
	6-5-3-9プレビュー用桁製作工		3-2-12-9プレビュー用桁製作工	Ⅲ－29
	6-5-3-10橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	Ⅲ－28
	6-5-3-11鑄造費		3-2-12-1鑄造費	Ⅲ－27
	6-5-3-12アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレーム製作工	Ⅲ－28
	6-5-3-13仮設材製作工		3-2-12-1仮設材製作工	Ⅲ－27
	6-5-3-14工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	Ⅲ－29
第6節 可動堰本体工	6-5-6-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ－10

撮影箇所（出来形管理）索引

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 可動堰本体工	6-5-6-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	6-5-6-5オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	Ⅲ-11
	6-5-6-6ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	Ⅲ-11
	6-5-6-7矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ-4
	6-5-6-8床版工		6-4-6-7床版工	Ⅲ-33
	6-5-6-9堰柱工		6-4-6-8堰柱工	Ⅲ-33
	6-5-6-10門柱工		6-4-6-9門柱工	Ⅲ-33
	6-5-6-11ゲート操作台工		6-4-6-10ゲート操作台工	Ⅲ-33
	6-5-6-12水叩工		6-3-5-8水叩工	Ⅲ-33
	6-5-6-13開門工			Ⅲ-34
	6-5-6-14土砂吐工			Ⅲ-34
	6-5-6-15取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ-30
第7節 固定堰本体工	6-5-7-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	6-5-7-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	6-5-7-5オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	Ⅲ-11
	6-5-7-6ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	Ⅲ-11
	6-5-7-7矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ-4
	6-5-7-8堰本体工			Ⅲ-34
	6-5-7-9水叩工			Ⅲ-34
	6-5-7-10土砂吐工			Ⅲ-34
	6-5-7-11取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ-30
第8節 魚道工	6-5-8-3魚道本体工			Ⅲ-34
第9節 管理橋下部工	6-5-9-2管理橋橋台工			Ⅲ-34
第10節 鋼管理橋上部工	6-5-10-4架設工（クレーン架設）		3-2-13-1架設工（クレーン架設）	Ⅲ-29
	6-5-10-5架設工（ケーブルクレーン架設）		3-2-13-1架設工（ケーブルクレーン架設）	Ⅲ-29
	6-5-10-6架設工（ケーブルエレクション架設）		3-2-13-1架設工（ケーブルエレクション架設）	Ⅲ-29
	6-5-10-7架設工（架設桁架設）		3-2-13-1架設工（架設桁架設）	Ⅲ-29
	6-5-10-8架設工（送出し架設）		3-2-13-1架設工（送出し架設）	Ⅲ-29
	6-5-10-9架設工（トラベラークレーン架設）		3-2-13-1架設工（トラベラークレーン架設）	Ⅲ-29
	6-5-10-10支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
第11節 橋梁現場塗装工	6-5-11-2現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	Ⅲ-9
第12節 床版工	6-5-12-2床版工		3-2-18-1床版・横組工	Ⅲ-31
第13節 橋梁付属物工（鋼管理橋）	6-5-13-2伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	Ⅲ-7
	6-5-13-4地覆工		6-4-12-4地覆工	Ⅲ-33
	6-5-13-5橋梁用防護柵工		6-4-12-5橋梁用防護柵工	Ⅲ-33
	6-5-13-6橋梁用高欄工		6-4-12-6橋梁用高欄工	Ⅲ-33
	6-5-13-7検査路工		6-4-12-7検査路工	Ⅲ-34

撮影箇所（出来形管理）索引

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第15節 コンクリート管理橋上部工（P C 橋）	6-5-15-2プレテンション桁製作工（購入工）		3-2-3-12プレテンション桁製作工（購入工）	Ⅲ－5
	6-5-15-3ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁製作工	Ⅲ－5
	6-5-15-4プレキャストセグメント製作工（購入工）		3-2-3-14プレキャストセグメント製作工（購入工）	Ⅲ－6
	6-5-15-5プレキャストセグメント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	Ⅲ－6
	6-5-15-6支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ－33
	6-5-15-7架設工（クレーン架設）		3-2-13-1架設工（クレーン架設）	Ⅲ－29
	6-5-15-8架設工（架設桁架設）		3-2-13-1架設工（架設桁架設）	Ⅲ－29
	6-5-15-9床版・横組工		3-2-18-1床版・横組工	Ⅲ－31
	6-5-15-10落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ－49
第16節 コンクリート管理橋上部工（P C 橋ホロースラブ橋）	6-5-16-2架設支保工（固定）		3-2-13-1架設工	Ⅲ－29
	6-5-16-3支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ－33
	6-5-16-4落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ－49
	6-5-16-5 P C ホロースラブ製作工		3-2-3-15 P C ホロースラブ製作工	Ⅲ－6
第17節 コンクリート管理橋上部工（P C 箱桁橋）	6-5-17-2架設支保工（固定）		3-2-13-1架設工	Ⅲ－29
	6-5-17-3支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ－33
	6-5-17-4 P C 箱桁製作工		3-2-3-16 P C 箱桁製作工	Ⅲ－6
	6-5-17-5落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ－49
第18節 橋梁付属物工（コンクリート管理橋）	6-5-18-2伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	Ⅲ－7
	6-5-18-4地覆工		6-4-12-4地覆工	Ⅲ－33
	6-5-18-5橋梁用防護柵工		6-4-12-5橋梁用防護柵工	Ⅲ－33
	6-5-18-6橋梁用高欄工		6-4-12-6橋梁用高欄工	Ⅲ－33
	6-5-18-7検査路工		6-4-12-7検査路工	Ⅲ－34
第20節 付属物設置工	6-5-20-3防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ－4
	6-5-20-7階段工		3-2-3-22階段工	Ⅲ－7
第6章 排水機場				
第4節 機場本体工	6-6-4-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ－10
	6-6-4-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ－10
	6-6-4-5矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ－4
	6-6-4-6本体工			Ⅲ－34
	6-6-4-7燃料貯油槽工			Ⅲ－34
第5節 沈砂池工	6-6-5-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ－10
	6-6-5-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ－10
	6-6-5-5矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ－4
	6-6-5-6場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ－30
	6-6-5-7コンクリート床版工			Ⅲ－34
	6-6-5-8ブロック床版工		3-2-3-17根固めブロック	Ⅲ－7
	6-6-5-9場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ－9
第6節 吐出水槽工	6-6-6-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ－10

撮影箇所（出来形管理）索引

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 吐出水槽工	6-6-6-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	6-6-6-5矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ-4
	6-6-6-6本体工		6-6-4-6本体工	Ⅲ-34
第7章 床止め・床固め				
第4節 床止め工	6-7-4-4既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	6-7-4-5矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ-4
	6-7-4-6本体工	床固め本体工		Ⅲ-35
		植石張り	3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
		根固めブロック	3-2-3-17根固めブロック	Ⅲ-7
	6-7-4-7取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ-30
	6-7-4-8水叩工			Ⅲ-35
		巨石張り	3-2-3-26巨石張り、巨石積み	Ⅲ-8
		根固めブロック	3-2-3-17根固めブロック	Ⅲ-7
第5節 床固め工	6-7-5-4本堤工		6-7-4-6本体工	Ⅲ-35
	6-7-5-5垂直壁工		6-7-4-6本体工	Ⅲ-35
	6-7-5-6側壁工			Ⅲ-35
	6-7-5-7水叩工		6-7-4-8水叩工	Ⅲ-35
第6節 山留擁壁工	6-7-6-3コンクリート擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ-30
	6-7-6-4ブロック積擁壁工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11
	6-7-6-5石積擁壁工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
	6-7-6-6山留擁壁基礎工		3-2-4-3基礎工（護岸）	Ⅲ-9
第8章 河川維持				
第7節 路面補修工	6-8-7-3不陸整正工		1-2-3-6堤防天端工	Ⅲ-2
	6-8-7-4コンクリート舗装補修工		3-2-6-12コンクリート舗装工	Ⅲ-19
	6-8-7-5アスファルト舗装補修工		3-2-6-7アスファルト舗装工	Ⅲ-13
第8節 付属物復旧工	6-8-8-2付属物復旧工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ-4
第9節 付属物設置工	6-8-9-3防護柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ-4
	6-8-9-5付属物設置工		3-2-3-10道路付属物工	Ⅲ-5
第10節 光ケーブル配管工	6-8-10-3配管工		6-1-13-3配管工	Ⅲ-32
	6-8-10-4ハンドホール工		6-1-13-4ハンドホール工	Ⅲ-32
第12節 植栽維持工	6-8-12-3樹木・芝生管理工		3-2-14-2植生工	Ⅲ-29
第9章 河川修繕				
第4節 腹付工	6-9-4-2覆土工		1-2-3-5法面整形工	Ⅲ-2
	6-9-4-3植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ-29
第5節 側帯工	6-9-5-2縁切工	じゃかご工	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ-8
		連節ブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-12
		コンクリートブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11
		石張工	3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
	6-9-5-3植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ-29
第6節 堤脚保護工	6-9-6-3石積工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
	6-9-6-4コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11

撮影箇所（出来形管理）索引

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第7節 管理用通路工	6-9-7-2防護柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ-4
	6-9-7-4路面切削工		3-2-6-15路面切削工	Ⅲ-24
	6-9-7-5舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	Ⅲ-24
	6-9-7-6オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	Ⅲ-24
	6-9-7-7排水構造物工	プレキャストU型側溝・ 管（函）渠	3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
		集水樹工	3-2-3-30集水樹工	Ⅲ-9
	6-9-7-8道路付属物工	歩車道境界ブロック	3-2-3-5縁石工	Ⅲ-4
第8節 現場塗装工	6-9-8-3付属物塗装工		3-2-3-31現場塗装工	Ⅲ-9
	6-9-8-4コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	Ⅲ-5

撮影箇所（出来形管理）索引

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 堤防・護岸				
第5節 護岸基礎工	7-1-5-4捨石工		3-2-3-19捨石工	Ⅲ-7
	7-1-5-5場所打コンクリート工			Ⅲ-36
	7-1-5-6海岸コンクリートブロック工			Ⅲ-36
	7-1-5-7笠コンクリート工		3-2-4-3基礎工（護岸）	Ⅲ-9
	7-1-5-8基礎工		3-2-4-3基礎工（護岸）	Ⅲ-9
	7-1-5-9矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ-4
第6節 護岸工	7-1-6-3石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
	7-1-6-4海岸コンクリートブロック工			Ⅲ-36
	7-1-6-5コンクリート被覆工			Ⅲ-36
第7節 擁壁工	7-1-7-3場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ-30
第8節 天端被覆工	7-1-8-2コンクリート被覆工			Ⅲ-36
第9節 波返工	7-1-9-3波返工			Ⅲ-36
第10節 裏法被覆工	7-1-10-2石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
	7-1-10-3コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11
	7-1-10-4コンクリート被覆工		7-1-6-5コンクリート被覆工	Ⅲ-36
	7-1-10-5法枠工		3-2-14-4法枠工	Ⅲ-30
第11節 カルバート工	7-1-11-3プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	Ⅲ-8
第12節 排水構造物工	7-1-12-3側溝工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	7-1-12-4集水樹工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ-9
	7-1-12-5管渠工	プレキャストパイプ	3-2-3-29暗渠工	Ⅲ-9
		プレキャストボックス	3-2-3-29暗渠工	Ⅲ-9
		コルゲートパイプ	3-2-3-29暗渠工	Ⅲ-9
		タグタイル铸铁管	3-2-3-29暗渠工	Ⅲ-9
	7-1-12-6場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ-9
第13節 付属物設置工	7-1-13-3防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ-4
	7-1-13-6階段工		3-2-3-22階段工	Ⅲ-7
第14節 付帯道路工	7-1-14-3路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ-4
	7-1-14-5アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	Ⅲ-13
	7-1-14-6コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	Ⅲ-19
	7-1-14-7薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	Ⅲ-22
	7-1-14-8側溝工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	7-1-14-9集水樹工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ-9
	7-1-14-10縁石工		3-2-3-5縁石工	Ⅲ-4
	7-1-14-11区画線工		3-2-3-9区画線工	Ⅲ-5

撮影箇所（出来形管理）索引

【第7編 河川海岸編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第15節 付帯道路施設工	7-1-15-3道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	Ⅲ-5
	7-1-15-4小型標識工		3-2-3-6小型標識工	Ⅲ-4
第2章 突堤・人工岬				
第4節 突堤基礎工	7-2-4-4捨石工			Ⅲ-36
	7-2-4-5吸出し防止工			Ⅲ-36
第5節 突堤本体工	7-2-5-2捨石工			Ⅲ-37
	7-2-5-5海岸コンクリートブロック工			Ⅲ-37
	7-2-5-6既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	7-2-5-7詰杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	7-2-5-8矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ-4
	7-2-5-9石枠工			Ⅲ-37
	7-2-5-10場所打コンクリート工			Ⅲ-37
	7-2-5-11ケーソン工	ケーソン工製作		Ⅲ-37
		ケーソン工据付		Ⅲ-37
		突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)		Ⅲ-37
	7-2-5-12セルラー工	セルラー工製作		Ⅲ-37
		セルラー工据付		Ⅲ-38
		突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロック)		Ⅲ-38
第6節 根固め工	7-2-6-2捨石工			Ⅲ-38
	7-2-6-3根固めブロック工			Ⅲ-38
第7節 消波工	7-2-7-2捨石工		7-2-6-2捨石工	Ⅲ-38
	7-2-7-3消波ブロック工			Ⅲ-38
第3章 海城堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）				
第3節 海城堤基礎工	7-3-3-3捨石工			Ⅲ-38
	7-3-3-4吸出し防止工		7-2-4-5吸出し防止工	Ⅲ-36
第4節 海城堤本体工	7-3-4-2捨石工		7-2-4-4捨石工	Ⅲ-36
	7-3-4-3海岸コンクリートブロック工		7-2-5-5海岸コンクリートブロック工	Ⅲ-37
	7-3-4-4ケーソン工		7-2-5-11ケーソン工	Ⅲ-37
	7-3-4-5セルラー工		7-2-5-12セルラー工	Ⅲ-37
	7-3-4-6場所打コンクリート工		7-2-5-10場所打ちコンクリート工	Ⅲ-37
第4章 浚渫（海岸）				
第3節 浚渫工（ポンプ浚渫船）	7-4-3-2浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	Ⅲ-31
第4節 浚渫工（グラブ船）	7-4-4-2浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	Ⅲ-31
第5章 養浜				
第4節 砂止工	7-5-4-2根固めブロック工		7-2-6-3根固めブロック工	Ⅲ-38

撮影箇所（出来形管理）索引

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 砂防堰堤				
第3節 工場製作工	8-1-3-3鋼製堰堤製作工		3-2-12-3桁製作工（鋼製堰堤製作工（仮組立時））	Ⅲ－28
	8-1-3-4鋼製堰堤仮設材製作工			Ⅲ－39
	8-1-3-5工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	Ⅲ－29
第6節 法面工	8-1-6-2植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ－29
	8-1-6-3法面吹付け工		3-2-14-3吹付け工	Ⅲ－30
	8-1-6-4法枠工		3-2-14-4法枠工	Ⅲ－30
	8-1-6-6アンカー工		3-2-14-6アンカー工	Ⅲ－30
	8-1-6-7かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
第8節 コンクリート堰堤工	8-1-8-4コンクリート堰堤本体工			Ⅲ－39
	8-1-8-5コンクリート副堰堤工		8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	Ⅲ－39
	8-1-8-6コンクリート側壁工			Ⅲ－39
	8-1-8-8水叩工			Ⅲ－39
第9節 鋼製堰堤工	8-1-9-5鋼製堰堤本体工	不透過型		Ⅲ－39
		透過型		Ⅲ－39
	8-1-9-6鋼製側壁工			Ⅲ－39
	8-1-9-7コンクリート側壁工		8-1-8-6コンクリート側壁工	Ⅲ－39
	8-1-9-9水叩工		8-1-8-8水叩工	Ⅲ－39
	8-1-9-10現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	Ⅲ－9
第10節 護床工・根固め工	8-1-10-4根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック	Ⅲ－7
	8-1-10-6沈床工		3-2-3-18沈床工	Ⅲ－7
	8-1-10-7かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
第11節 砂防堰堤付属物設置工	8-1-11-3防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ－4
第12節 付帯道路工	8-1-12-3路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ－4
	8-1-12-5アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	Ⅲ－13
	8-1-12-6コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	Ⅲ－19
	8-1-12-7薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	Ⅲ－22
	8-1-12-8側溝工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ－9
	8-1-12-9集水樹工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ－9
	8-1-12-10縁石工		3-2-3-5縁石工	Ⅲ－4
	8-1-12-11区画線工		3-2-3-9区画線工	Ⅲ－5
第13節 付帯道路施設工	8-1-13-3道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	Ⅲ－5
	8-1-13-4小型標識工		3-2-3-6小型標識工	Ⅲ－4

撮影箇所（出来形管理）索引

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 流路				
第4節 流路護岸工	8-2-4-4基礎工		3-2-4-3基礎工（護岸）	Ⅲ－9
	8-2-4-5コンクリート擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ－30
	8-2-4-6ブロック積擁壁工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ－11
	8-2-4-7石積擁壁工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ－12
	8-2-4-8護岸付属物工		6-1-7-4護岸付属物工	Ⅲ－32
	8-2-4-9植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ－29
第5節 床固め工	8-2-5-4床固め本体工		8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	Ⅲ－39
	8-2-5-5垂直壁工		8-1-8-4コンクリート堰堤本体工	Ⅲ－39
	8-2-5-6側壁工		8-1-8-6コンクリート側壁工	Ⅲ－39
	8-2-5-7水叩工		8-1-8-8水叩工	Ⅲ－39
	8-2-5-8魚道工			Ⅲ－40
第6節 根固め・水制工	8-2-6-4根固めブロック工		3-2-3-17根固めブロック	Ⅲ－7
	8-2-6-6捨石工		3-2-3-19捨石工	Ⅲ－7
	8-2-6-7かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
		かごマット	3-2-3-26かごマット	Ⅲ－8
第7節 流路付属物設置工	8-2-7-2階段工		3-2-3-22階段工	Ⅲ－7
	8-2-7-3防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ－4
第3章 斜面対策				
第4節 法面工	8-3-4-2植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ－29
	8-3-4-3吹付工		3-2-14-3吹付工	Ⅲ－30
	8-3-4-4法枠工		3-2-14-4法枠工	Ⅲ－30
	8-3-4-5かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
	8-3-4-6アンカー工（プレキャストコンクリート板）		3-2-14-6アンカー工	Ⅲ－30
	8-3-4-7抑止アンカー工		3-2-14-6アンカー工	Ⅲ－30
第5節 擁壁工	8-3-5-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ－10
	8-3-5-4場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ－30
	8-3-5-5プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	Ⅲ－30
	8-3-5-6補強土壁工		1-2-3-4盛土補強工	Ⅲ－1
	8-3-5-7井桁ブロック工		3-2-15-4井桁ブロック工	Ⅲ－31
	8-3-5-8落石防護工		10-1-11-5落石防護柵工	Ⅲ－43
第6節 山腹水路工	8-3-6-3山腹集水路・排水路工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ－9
	8-3-6-4山腹明暗渠工			Ⅲ－40
	8-3-6-5山腹暗渠工		3-2-3-29暗渠工	Ⅲ－9

撮影箇所（出来形管理）索引

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 山腹水路工	8-3-6-6現場打水路工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ－9
	8-3-6-7集水榭工		3-2-3-30集水榭工	Ⅲ－9
第7節 地下水排除工	8-3-7-4集排水ボーリング工			Ⅲ－40
	8-3-7-5集水井工			Ⅲ－40
第8節 地下水遮断工	8-3-8-3場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ－30
	8-3-8-4固結工		3-2-7-9固結工	Ⅲ－25
	8-3-8-5矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ－4
第9節 抑止杭工	8-3-9-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ－10
	8-3-9-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ－10
	8-3-9-5シャフト工（深礎工）		3-2-4-6深礎工	Ⅲ－10
	8-3-9-6合成杭工			Ⅲ－40

撮影箇所（出来形管理）索引

【第9編 ダム編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 コンクリートダム				
第4節 ダムコンクリート工	9-1-4コンクリートダム工 (本体)			Ⅲ－41
	9-1-4コンクリートダム工 (水叩)			Ⅲ－41
	9-1-4コンクリートダム工 (副ダム)			Ⅲ－41
	9-1-4コンクリートダム工 (導流壁)			Ⅲ－41
第2章 フィルダム				
第3節 盛立工	9-2-3-5コアの盛立			Ⅲ－41
	9-2-3-6フィルターの盛立			Ⅲ－41
	9-2-3-7ロックの盛立			Ⅲ－42
	9-2フィルダム (洪水吐)			Ⅲ－42
第3章 基礎グラウチング				
第3節 ボーリング工	9-3-3ボーリング工			Ⅲ－42

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第1章 道路改良				
第3節 工場製作工	10-1-3-2遮音壁支柱製作工	遮音壁支柱製作工		Ⅲ-43
		工場塗装工	3-2-12-11工場塗装工	Ⅲ-29
第6節 法面工	10-1-6-2植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ-29
	10-1-6-3法面吹付工		3-2-14-3吹付工	Ⅲ-30
	10-1-6-4法枠工		3-2-14-4法枠工	Ⅲ-30
	10-1-6-6アンカー工		3-2-14-6アンカー工	Ⅲ-30
	10-1-6-7かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ-8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ-8
第7節 擁壁工	10-1-7-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	10-1-7-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	10-1-7-5場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ-30
	10-1-7-6プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	Ⅲ-30
	10-1-7-7補強土壁工	補強土（テールアルメ）壁工法	1-2-3-4盛土補強工	Ⅲ-1
		多数アンカー式補強土工法	1-2-3-4盛土補強工	Ⅲ-1
		ジオテキスタイルを用いた補強土工法	1-2-3-4盛土補強工	Ⅲ-1
	10-1-7-8井桁ブロック工		3-2-15-4井桁ブロック工	Ⅲ-31
第8節 石・ブロック積（張）工	10-1-8-3コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11
	10-1-8-4石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
第9節 カルバート工	10-1-9-4既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	10-1-9-5場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	10-1-9-6場所打函渠工			Ⅲ-43
	10-1-9-7プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	Ⅲ-8
第10節 排水構造物工（小型水路工）	10-1-10-3側溝工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	10-1-10-4管渠工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	10-1-10-5集水樹・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ-9
	10-1-10-6地下排水工		3-2-3-29暗渠工	Ⅲ-9
	10-1-10-7場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ-9
	10-1-10-8排水工（小段排水・縦排水）		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
第11節 落石雪害防止工	10-1-11-4落石防止網工			Ⅲ-43
	10-1-11-5落石防護柵工			Ⅲ-43
	10-1-11-6防雪柵工			Ⅲ-43
	10-1-11-7雪崩予防柵工			Ⅲ-43
第12節 遮音壁工	10-1-12-4遮音壁基礎工			Ⅲ-43
	10-1-12-5遮音壁本体工			Ⅲ-43

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第2章 舗装				
第4節 舗装工	10-2-4-5アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	Ⅲ-13
	10-2-4-6半たわみ性舗装工		3-2-6-8半たわみ性舗装工	Ⅲ-14
	10-2-4-7排水性舗装工		3-2-6-9排水性舗装工	Ⅲ-16
	10-2-4-8透水性舗装工		3-2-6-10透水性舗装工	Ⅲ-18
	10-2-4-9グースアスファルト舗装工		3-2-6-11グースアスファルト舗装工	Ⅲ-18
	10-2-4-10コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	Ⅲ-19
	10-2-4-11薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	Ⅲ-22
	10-2-4-12ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	Ⅲ-23
	10-2-4歩道路盤工			Ⅲ-44
	10-2-4取合舗装路盤工			Ⅲ-44
	10-2-4路肩舗装路盤工			Ⅲ-44
	10-2-4歩道舗装工			Ⅲ-44
	10-2-4取合舗装工			Ⅲ-44
	10-2-4路肩舗装工			Ⅲ-44
	10-2-4表層工			Ⅲ-44
第5節 排水構造物工（路面排水工）	10-2-5-3側溝工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	10-2-5-4管渠工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	10-2-5-5集水樹（街渠樹）・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ-9
	10-2-5-6地下排水工		3-2-3-29暗渠工	Ⅲ-9
	10-2-5-7場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ-9
	10-2-5-8排水工（小段排水・縦排水）		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	10-2-5-9排水性舗装用路肩排水工			Ⅲ-44
第6節 縁石工	10-2-6-3縁石工		3-2-3-5縁石工	Ⅲ-4
第7節 路掛版工	10-2-7-4路掛版工	コンクリート工		Ⅲ-44
		ラバーシュー		Ⅲ-44
		アンカーボルト		Ⅲ-44
第8節 防護柵工	10-2-8-3路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ-4
	10-2-8-4防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ-4
	10-2-8-5ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ-4
	10-2-8-6車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ-4
第9節 標識工	10-2-9-3小型標識工		3-2-3-6小型標識工	Ⅲ-4
	10-2-9-4大型標識工	標識基礎工		Ⅲ-44
		標識柱工		Ⅲ-44
第10節 区画線工	10-2-10-2区画線工		3-2-3-9区画線工	Ⅲ-5
第12節 道路付属施設工	10-2-12-4道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	Ⅲ-5
	10-2-12-5ケーブル配管工			Ⅲ-44
		ハンドホール		Ⅲ-45
	10-2-12-6照明工	照明柱基礎工		Ⅲ-45
第13節 橋梁付属物工	10-2-13-2伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	Ⅲ-7

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第3章 橋梁下部				
第3節 工場製作工	10-3-3-2刃口金物製作工		3-2-12-1刃口金物製作工	Ⅲ-27
	10-3-3-3鋼製橋脚製作工			Ⅲ-45
	10-3-3-4アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレーム製作工	Ⅲ-28
	10-3-3-5工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	Ⅲ-29
第6節 橋台工	10-3-6-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	10-3-6-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	10-3-6-5深礎工		3-2-4-6深礎工	Ⅲ-10
	10-3-6-6オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	Ⅲ-11
	10-3-6-7ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	Ⅲ-11
	10-3-6-8橋台躯体工			Ⅲ-45
第7節 R C 橋脚工	10-3-7-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	10-3-7-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	10-3-7-5深礎工		3-2-4-6深礎工	Ⅲ-10
	10-3-7-6オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	Ⅲ-11
	10-3-7-7ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	Ⅲ-11
	10-3-7-8鋼管矢板基礎工		3-2-4-9鋼管矢板基礎工	Ⅲ-11
	10-3-7-9橋脚躯体工	張出式 ラーメン式		Ⅲ-45 Ⅲ-45
第8節 鋼製橋脚工	10-3-8-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	10-3-8-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	10-3-8-5深礎工		3-2-4-6深礎工	Ⅲ-10
	10-3-8-6オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基礎工	Ⅲ-11
	10-3-8-7ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	Ⅲ-11
	10-3-8-8鋼管矢板基礎工		3-2-4-9鋼管矢板基礎工	Ⅲ-11
	10-3-8-9橋脚フーチング工	I 型・T 型 門型		Ⅲ-45 Ⅲ-45
	10-3-8-10橋脚架設工	I 型・T 型 門型		Ⅲ-46 Ⅲ-46
	10-3-8-11現場継手工			Ⅲ-46
	10-3-8-12現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	Ⅲ-9
第9節 護岸基礎工	10-3-9-3基礎工		3-2-4-3基礎工（護岸）	Ⅲ-9
	10-3-9-4矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ-4
	10-3-9-3笠コンクリート工		3-2-4-3基礎工（護岸）	Ⅲ-9
第10節 矢板護岸工	10-3-10-4矢板工		3-2-3-4矢板工	Ⅲ-4
第11節 法覆護岸工	10-3-11-2コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11
	10-3-11-3護岸付属物工		6-1-7-4護岸付属物工	Ⅲ-32
	10-3-11-4緑化ブロック工		3-2-5-4緑化ブロック工	Ⅲ-12
	10-3-11-5環境護岸ブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第11節 法覆護岸工	10-3-11-6石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ－12
	10-3-11-7法枠工		3-2-14-4法枠工	Ⅲ－30
	10-3-11-8多自然型護岸工	巨石張り	3-2-3-26巨石張り、巨石積み	Ⅲ－8
		巨石積み	3-2-3-26巨石張り、巨石積み	Ⅲ－8
		かごマット	3-2-3-26かごマット	Ⅲ－8
	10-3-11-9吹付工		3-2-14-3吹付工	Ⅲ－30
	10-3-11-10植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ－29
	10-3-11-11覆土工		1-2-3-5法面整形工	Ⅲ－2
	10-3-11-12羽口工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ－8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8
かご枠		3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ－8	
連節ブロック張り		3-2-5-3連節ブロック張り	Ⅲ－12	
第12節 擁壁護岸工	10-3-12-3場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ－30
	10-3-12-4プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	Ⅲ－30
第4章 鋼橋上部				
第3節 工場製作工	10-4-3-3桁製作工		3-2-12-3桁製作工	Ⅲ－27
	10-4-3-4検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	Ⅲ－28
	10-4-3-5鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	Ⅲ－28
	10-4-3-6落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	Ⅲ－28
	10-4-3-7鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作工	Ⅲ－29
	10-4-3-8橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	Ⅲ－28
	10-4-3-9橋梁用高欄製作工			Ⅲ－46
	10-4-3-10横断歩道橋製作工		3-2-12-3桁製作工	Ⅲ－27
	10-4-3-11鋳造費		3-2-12-1鋳造費	Ⅲ－27
	10-4-3-12アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレーム製作工	Ⅲ－28
	10-4-3-13工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	Ⅲ－29
第5節 鋼橋架設工	10-4-5-4架設工（クレーン架設）		3-2-13-1架設工（クレーン架設）	Ⅲ－29
	10-4-5-5架設工（ケーブルクレーン架設）		3-2-13-1架設工（ケーブルクレーン架設）	Ⅲ－29
	10-4-5-6架設工（ケーブルエレクション架設）		3-2-13-1架設工（ケーブルエレクション架設）	Ⅲ－29
	10-4-5-7架設工（架設桁架設）		3-2-13-1架設工（架設桁架設）	Ⅲ－29
	10-4-5-8架設工（送出し架設）		3-2-13-1架設工（送出し架設）	Ⅲ－29
	10-4-5-9架設工（トラベラークレーン架設）		3-2-13-1架設工（トラベラークレーン架設）	Ⅲ－29
	10-4-5-10支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ－33
第6節 橋梁現場塗装工	10-4-6-3現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	Ⅲ－9
第7節 床版工	10-4-7-2床版工		3-2-18-1床版・横組工	Ⅲ－31

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第8節 橋梁付属物工	10-4-8-2伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	Ⅲ-7
	10-4-8-3落橋防止装置工			Ⅲ-46
	10-4-8-5地覆工		6-4-12-4地覆工	Ⅲ-33
	10-4-8-6橋梁用防護柵工		6-4-12-5橋梁用防護柵工	Ⅲ-33
	10-4-8-7橋梁用高欄工		6-4-12-6橋梁用高欄工	Ⅲ-33
	10-4-8-8検査路工		6-4-12-7検査路工	Ⅲ-34
第9節 歩道橋本体工	10-4-9-3既製杭工		3-2-4-4既製杭工	Ⅲ-10
	10-4-9-4場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	Ⅲ-10
	10-4-9-5橋脚フーチング工	I 型	10-3-8-9橋脚フーチング工	Ⅲ-45
		T 型	10-3-8-9橋脚フーチング工	Ⅲ-45
	10-4-9-6歩道橋架設工		3-2-13-1架設工（鋼橋）	Ⅲ-29
	10-4-9-7現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	Ⅲ-9
第5章 コンクリート橋上部				
第3節 工場製作工	10-5-3-2プレビュー用桁製作工		3-2-12-9プレビュー用桁製作工	Ⅲ-29
	10-5-3-3橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	Ⅲ-28
	10-5-3-4鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	Ⅲ-28
	10-5-3-5検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	Ⅲ-28
	10-5-3-6工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	Ⅲ-29
	10-5-3-7 casting 費		3-2-12-1 casting 費	Ⅲ-27
第5節 PC 橋工	10-5-5-2プレテンション桁製作工（購入工）	けた橋	3-2-3-12プレテンション桁製作工（購入工）	Ⅲ-5
		スラブ橋	3-2-3-12プレテンション桁製作工（購入工）	Ⅲ-5
	10-5-5-3ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁製作工	Ⅲ-5
	10-5-5-4プレキャストセグメント製作工（購入工）		3-2-3-14プレキャストセグメント製作工（購入工）	Ⅲ-6
	10-5-5-5プレキャストセグメント主桁組立工		3-2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	Ⅲ-6
	10-5-5-6支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
	10-5-5-7架設工（クレーン架設）		3-2-13-1架設工（クレーン架設）	Ⅲ-29
	10-5-5-8架設工（架設桁架設）		3-2-13-1架設工（架設桁架設）	Ⅲ-29
	10-5-5-9床版・横組工		3-2-18-1床版・横組工	Ⅲ-31
	10-5-5-10落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ-49
第6節 プレビュー桁橋工	10-5-6-2プレビュー桁製作工（現場）			Ⅲ-46
	10-5-6-3支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
	10-5-6-4架設工（クレーン架設）		3-2-13-1架設工（クレーン架設）	Ⅲ-29
	10-5-6-5架設工（架設桁架設）		3-2-13-1架設工（架設桁架設）	Ⅲ-29
	10-5-6-6床版・横組工		3-2-18-1床版・横組工	Ⅲ-31
	10-5-6-9落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ-49
第7節 PC ホロスラブ橋工	10-5-7-2架設支保工（固定）		3-2-13-1架設工	Ⅲ-29

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第7節 PCホロースラブ橋工	10-5-7-3支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
	10-5-7-4PCホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	Ⅲ-6
	10-5-7-5落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ-49
第8節 RCホロースラブ橋工	10-5-8-2架設支保工（固定）		3-2-13-1架設工	Ⅲ-29
	10-5-8-3支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
	10-5-8-4RC場所打ホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	Ⅲ-6
	10-5-8-5落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ-49
第9節 PC版桁橋工	10-5-9-2PC版桁製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製作工	Ⅲ-6
第10節 PC箱桁橋工	10-5-10-2架設支保工（固定）		3-2-13-1架設工	Ⅲ-29
	10-5-10-3支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
	10-5-10-4PC箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	Ⅲ-6
	10-5-10-5落橋防止装置工		10-16-22-4落橋防止装置工	Ⅲ-49
第11節 PC片持箱桁橋工	10-5-11-2PC片持箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	Ⅲ-6
	10-5-11-3支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
	10-5-11-4架設工（片持架設）		3-2-13-1架設工	Ⅲ-29
第12節 PC押出し箱桁橋工	10-5-12-2PC押出し箱桁製作工		3-2-3-16PC押出し箱桁製作工	Ⅲ-6
	10-5-12-3架設工（押出し架設）		3-2-13-1架設工	Ⅲ-29
第13節 橋梁付属物工	10-5-13-2伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	Ⅲ-7
	10-5-13-4地覆工		6-4-12-4地覆工	Ⅲ-33
	10-5-13-5橋梁用防護柵工		6-4-12-5橋梁用防護柵工	Ⅲ-33
	10-5-13-6橋梁用高欄工		6-4-12-6橋梁用高欄工	Ⅲ-33
	10-5-13-7検査路工		6-4-12-7検査路工	Ⅲ-34
第6章 トンネル（NATM）				
第4節 支保工	10-6-4-3吹付工			Ⅲ-46
	10-6-4-4ロックボルト工			Ⅲ-47
第5節 覆工	10-6-5-3覆工コンクリート工			Ⅲ-47
	10-6-5-4側壁コンクリート工		10-6-5-3覆工コンクリート工	Ⅲ-47
	10-6-5-5床版コンクリート工			Ⅲ-47
第6節 インバート工	10-6-6-4インバート本体工			Ⅲ-47
第7節 坑内付帯工	10-6-7-5地下排水工		3-2-3-29暗渠工	Ⅲ-9
第8節 坑門工	10-6-8-4坑門本体工			Ⅲ-47
	10-6-8-5明り巻工			Ⅲ-48
第11章 共同溝				
第3節 工場製作工	10-11-3-3工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	Ⅲ-29
第6節 現場打構築工	10-11-6-2現場打躯体工			Ⅲ-48
	10-11-6-4カラー継手工			Ⅲ-48

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第6節 現場打構築工	10-11-6-5防水工	防水		Ⅲ－48
		防水保護工		Ⅲ－48
		防水壁		Ⅲ－48
第7節 プレキャスト構築工	10-11-7-2プレキャスト躯体工			Ⅲ－48
第12章 電線共同溝				
第5節 電線共同溝工	10-12-5-2管路工（管路部）			Ⅲ－49
	10-12-5-3プレキャストボックス工（特殊部）			Ⅲ－49
	10-12-5-4現場打ちボックス工（特殊部）			Ⅲ－49
第6節 付帯設備工	10-12-6-2ハンドホール工			Ⅲ－49
第13章 情報ボックス工				
第3節 情報ボックス工	10-13-3-3管路工（管路部）		10-12-5-2管路工（管路部）	Ⅲ－49
第4節 付帯設備工	10-13-4-2ハンドホール工		10-12-6-2ハンドホール工	Ⅲ－49
第14章 道路維持				
第4節 舗装工	10-14-4-3路面切削工		3-2-6-15路面切削工	Ⅲ－24
	10-14-4-4舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	Ⅲ－24
	10-14-4-5切削オーバーレイ工			Ⅲ－49
	10-14-4-6オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	Ⅲ－24
	10-14-4-7路上再生工			Ⅲ－49
	10-14-4-8薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	Ⅲ－22
	10-14-4-11グルーピング工			Ⅲ－49
第5節 排水構造物工	10-14-5-3側溝工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ－8
	10-14-5-4管渠工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ－8
	10-14-5-5集水樹・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ－9
	10-14-5-6地下排水工		3-2-3-29暗渠工	Ⅲ－9
	10-14-5-7場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	Ⅲ－9
	10-14-5-8排水工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ－8
第6節 防護柵工	10-14-6-3路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ－4
	10-14-6-4防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ－4
	10-14-6-5ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ－4
	10-14-6-6車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ－4
第7節 標識工	10-14-7-3小型標識工		3-2-3-6小型標識工	Ⅲ－4
	10-14-7-4大型標識工		10-2-9-4大型標識工	Ⅲ－44
第8節 道路付属施設工	10-14-8-4道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	Ⅲ－5
	10-14-8-5ケーブル配管工		10-2-12-5ケーブル配管工	Ⅲ－44
	10-14-8-6照明工		10-2-12-6照明工	Ⅲ－45
第10節 擁壁工	10-14-10-3場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ－30

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第10節 擁壁工	10-14-10-4プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	Ⅲ-30
第11節 石・ブロック積（張）工	10-14-11-3コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11
	10-14-11-4石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
第12節 カルバート工			10-1-9-6場所打函渠工	Ⅲ-43
	10-14-12-5プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	Ⅲ-8
第13節 法面工	10-14-13-2植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ-29
	10-14-13-3法面吹付工		3-2-14-3吹付工	Ⅲ-30
	10-14-13-4法枠工		3-2-14-4法枠工	Ⅲ-30
	10-14-13-6アンカー工		3-2-14-6アンカー工	Ⅲ-30
	10-14-13-7かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ-8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ-8
第15節 橋梁付属物工	10-14-15-2伸縮継手工		3-2-3-24伸縮装置工	Ⅲ-7
	10-14-15-4地覆工		6-4-12-4地覆工	Ⅲ-33
	10-14-15-5橋梁用防護柵工		6-4-12-5、6橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	Ⅲ-33
	10-14-15-6橋梁用高欄工		6-4-12-5、6橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	Ⅲ-33
	10-14-15-7検査路工		6-4-12-7検査路工	Ⅲ-34
第17節 現場塗装工	10-14-17-6コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	Ⅲ-5
第16章 道路修繕				
第3節 工場製作工	10-16-3-4桁補強材製作工			Ⅲ-49
	10-16-3-5落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	Ⅲ-28
第5節 舗装工	10-16-5-3路面切削工		3-2-6-15路面切削工	Ⅲ-24
	10-16-5-4舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	Ⅲ-24
	10-16-5-5切削オーバーレイ工		10-14-4-5切削オーバーレイ工	Ⅲ-49
	10-16-5-6オーバーレイ工		3-2-6-17オーバーレイ工	Ⅲ-24
	10-16-5-7路上再生工		10-14-4-7路上再生工	Ⅲ-49
	10-16-5-8薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	Ⅲ-22
第6節 排水構造物工	10-16-6-3側溝工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	10-16-6-4管渠工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
	10-16-6-5集水樹・マンホール工		3-2-3-30集水樹工	Ⅲ-9
	10-16-6-6地下排水工		3-2-3-29暗渠工	Ⅲ-9
	10-16-6-7場所排水路工		3-2-3-29場所排水路工	Ⅲ-9
	10-16-6-8排水工		3-2-3-29側溝工	Ⅲ-8
第7節 縁石工	10-16-7-3縁石工		3-2-3-5縁石工	Ⅲ-4
第8節 防護柵工	10-16-8-3路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ-4
	10-16-8-4防止柵工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ-4
	10-16-8-5ボックスビーム工		3-2-3-8路側防護柵工	Ⅲ-4
	10-16-8-6車止めポスト工		3-2-3-7防止柵工	Ⅲ-4

撮影箇所（出来形管理）索引

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第9節 標識工	10-16-9-3小型標識工		3-2-3-6小型標識工	Ⅲ-4
	10-16-9-4大型標識工		10-2-9-4大型標識工	Ⅲ-44
第10節 区画線工	10-16-10-2区画線工		3-2-3-9区画線工	Ⅲ-5
第12節 道路付属施設工	10-16-12-4道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	Ⅲ-5
	10-16-12-5ケーブル配管工		10-2-12-5ケーブル配管工	Ⅲ-44
	10-16-12-6照明工		10-2-12-6照明工	Ⅲ-45
第14節 擁壁工	10-16-14-3場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	Ⅲ-30
	10-16-14-4プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	Ⅲ-30
第15節 石・ブロック積（張）工	10-16-15-3コンクリートブロック工		3-2-5-3コンクリートブロック工	Ⅲ-11
	10-16-15-4石積（張）工		3-2-5-5石積（張）工	Ⅲ-12
第16節 カルバート工	10-16-16-4場所打函渠工		10-1-9-6場所打函渠工	Ⅲ-43
	10-16-16-5プレキャストカルバート工		3-2-3-28プレキャストカルバート工	Ⅲ-8
第17節 法面工	10-16-17-2植生工		3-2-14-2植生工	Ⅲ-29
	10-16-17-3法面吹付工		3-2-14-3吹付工	Ⅲ-30
	10-16-17-4法枠工		3-2-14-4法枠工	Ⅲ-30
	10-16-17-6アンカー工		3-2-14-6アンカー工	Ⅲ-30
	10-16-17-7かご工	じゃかご	3-2-3-27じゃかご	Ⅲ-8
		ふとんかご	3-2-3-27ふとんかご、かご枠	Ⅲ-8
第18節 落石雪害防止工	10-16-18-4落石防止網工		10-1-11-4落石防止網工	Ⅲ-43
	10-16-18-5落石防護柵工		10-1-11-5落石防護柵工	Ⅲ-43
	10-16-18-6防雪柵工		10-1-11-6防雪柵工	Ⅲ-43
	10-16-18-7雪崩予防柵工		10-1-11-7雪崩予防柵工	Ⅲ-43
第20節 鋼桁工	10-16-20-3鋼桁補強工		10-16-3-4桁補強材製作工	Ⅲ-49
第21節 橋梁支承工	10-16-21-3鋼橋支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
	10-16-21-4P C橋支承工		6-4-9-10支承工	Ⅲ-33
第22節 橋梁付属物工	10-16-22-4落橋防止装置工			Ⅲ-49
	10-16-22-6地覆工		6-4-12-4地覆工	Ⅲ-33
	10-16-22-7橋梁用防護柵工		6-4-12-5橋梁用防護柵工	Ⅲ-33
	10-16-22-8橋梁用高欄工		6-4-12-6橋梁用高欄工	Ⅲ-33
	10-16-22-9検査路工		6-4-12-7検査路工	Ⅲ-34
第25節 現場塗装工	10-16-25-3橋梁塗装工		3-2-3-31現場塗装工	Ⅲ-9
	10-16-25-6コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装工	Ⅲ-5

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	1-2-3-2 ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所1回 〔掘削後〕 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 多点計測技術（面管理の場合）における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕 「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	1-2-3-3 ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 多点計測技術（面管理の場合）における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	4		盛土補強工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	厚さ	120m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	1-2-3-4

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
1 共通編	2 土工	3 河川・ 海岸・ 砂防土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	120m又は1施工箇所1回〔仕上げ時〕	1-2-3-5
1 共通編	2 土工	3 河川・ 海岸・ 砂防土工	6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに1回 〔施工後〕	1-2-3-6
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	1-2-4-2
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所1回〔掘削後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 1工事に1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)多点計測技術(面管理の場合)における空中写真測量(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
1 共通 編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕 「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	1-2-4-3 1-2-4-4 ・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕	
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」多点計測技術（面管理の場合）における空中写真測量（UAV）および地上写真測量に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	
1 共通 編	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所1回 〔仕上げ時〕	1-2-4-5
1 共通 編	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 （重要構造物かつ主鉄筋について適用）	1-3-7-4
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 （重要構造物かつ主鉄筋について適用）	
1 共通 編	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 （電磁誘導法、電磁波レーガ法）	試験毎に1回 〔試験実施中〕	1-3-7-4

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m又は1施工箇所1回〔打込前後〕	3-2-3-4
						変位	40m又は1施工箇所1回〔打込後〕	
						数量	全数量〔打込後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	5		縁石工(縁石・アスカーブ)	出来ばえ	種別毎に1回 〔施工後〕	3-2-3-5
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 〔施工後〕	3-2-3-6
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	3-2-3-7
						パイプ取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	8	1	路側防護柵工(ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	3-2-3-8
						ビーム取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	8	2	路側防護柵工(ガードケープル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	3-2-3-8
						ケーブル取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	9		区画線工	材料使用量	全数量〔施工前後〕	3-2-3-9
						出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	3-2-3-10
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	11		コンクリート面塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕	3-2-3-11
						素地調整状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕	
						塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	12	1	プレテンション桁製作工(購入工) (けた橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕	3-2-3-12
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	12	2	プレテンション桁製作工(購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1スパンに1回 〔製作後〕	3-2-3-12
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	13		ポストテンション桁製作工	シーース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	3-2-3-13
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外後〕	
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	14	1	プレキャストセグメント製作工 (購入工)	断面の外形寸法	1スパンに1回 〔製作後〕	3-2-3-14
				2	プレキャストセグメント主桁組立 工	組立状況	1スパンに1回 〔組立時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	15		PCホロースラブ製作工	シース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	3-2-3-15
						幅 厚さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
						中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	1	PC箱桁製作工	シース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	3-2-3-16
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
						内空幅 内空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕	
						中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	2	PC押出し箱桁製作工	シース、PC鋼材 配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	3-2-3-16
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
						内空幅 内空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕	
						中詰め及びグラ ウト状況	1スパンに1回 〔施工時〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	17		根固めブロック工	数量	全数量〔製作後〕	3-2-3-17
						ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回〔製作後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	18		沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m又は1施工箇所1回〔施工後〕	3-2-3-18
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	19		捨石工	幅	200m又は1施工箇所1回〔施工後〕	3-2-3-19
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	22		階段工	幅 高さ 長さ	1施工箇所1回〔施工後〕	3-2-3-22
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	24	1	伸縮装置工(ゴムジョイント)	設置状況	1スパンに1回〔設置後〕	3-2-3-24
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	24	2	伸縮装置工(鋼製フィンガー ジョイント)	設置状況	1スパンに1回〔設置後〕	3-2-3-24

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	胴込裏込厚	120m又は1施工箇所1回〔施工中〕	3-2-3-26
						法長	200m又は1施工箇所1回〔施工後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	200m又は1施工箇所1回〔施工後〕	3-2-3-26
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 厚さ	200m又は1施工箇所1回〔施工後〕	3-2-3-27
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	27	2	羽口工 (ふとんかご、かご枠)	高さ	200m又は1施工箇所1回〔施工後〕	3-2-3-27
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	200m又は1施工箇所1回〔施工中〕	3-2-3-28
						※幅 ※高さ	200m又は1施工箇所1回 (※印は場所打ちのある場合)〔埋戻し前〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200m又は1施工箇所1回〔埋戻し前〕	3-2-3-29

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	2	3	29	2	側溝工 (場所打水路工)	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所(1回 〔型枠取外し後〕)	3-2-3-29
3	2	3	29	3	側溝工 (暗渠工)	幅 深さ	120m又は1施工箇所(1回〔埋戻し前〕)	3-2-3-29
3	2	3	30		集水桝工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所(1回 〔型枠取外し後〕)	3-2-3-30
3	2	3	31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	3-2-3-31
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕	
						塗装状況	各層毎1スパンに1回 〔塗装後〕	
3	2	4	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	40m又は1施工箇所(1回〔施工後〕)	3-2-4-1
3	2	4	3	1	基礎工護岸(現場打)	幅 高さ	200m又は1施工箇所(1回 〔型枠取外し後〕)	3-2-4-3

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	3 2	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	200m又は1施工箇所1回（施工後）	3-2-4-3
3	土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	4 1	既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕	3-2-4-4
						根入長	1施工箇所に1回 〔打込前〕	
						数量	全数量（打込後）	
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕	
3	土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	4 2	既製杭工 (鋼管ソイルセメント杭)	偏心量(鋼管杭・掘削心)	1施工箇所に1回 〔打込後〕	3-2-4-4
						根入長(鋼管杭、ロッド)	1施工箇所に1回 〔打込前〕	
						数量、杭径(ソイルセメント柱径)	全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭処理後	
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕	
3	土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	5	場所打杭工	根入長	1施工箇所に1回 〔施工中〕	3-2-4-5
						偏心量	1施工箇所に1回 〔打込後〕	
						数量、杭径	全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭処理後	
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回 〔処理前、中、後〕	
						鉄筋組立状況	1施工箇所に1回 〔組立後〕	
3	土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	6	深礎工	根入長	全数量（掘削後）	3-2-4-6
						偏心量 数量、基礎径	全数量（施工後）	
						ライナープレート 設置状況	1施工箇所に1回 〔掘削後〕	
						土質	土質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						鉄筋組立状況	全数量（組立後）	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	7		オープンケーソン基礎工	否	1基に1回 〔据付後〕	3-2-4-7
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し後〕	
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕	
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	8		ニューマチックケーソン基礎工	否	1基に1回 〔据付後〕	3-2-4-8
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し後〕	
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕	
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	9		鋼管矢板基礎工	否	1基に1回 〔据付後〕	3-2-4-9
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基に1回 〔設置後〕	
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕	
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工 （コンクリートブロック積） （コンクリートブロック張り）	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所1回（施工中）	3-2-5-3
						法長 厚さ （ブロック積張）	200m又は1施工箇所1回（施工後）	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	2	コンクリートブロック工（連節ブロック張り）	法長	200m又は1施工箇所に1回（施工後） ただし、根入部は40mに1回	3-2-5-3
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	3	3	コンクリートブロック工（天端保護ブロック）	幅	200m又は1施工箇所に1回（施工後）	3-2-5-3
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	4		緑化ブロック工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回（施工中）	3-2-5-4
						法長 厚さ(ブロック)	200m又は1施工箇所に1回（施工後） ただし、根入部は40mに1回	
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積（張）工	5		石積(張)工	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回（施工中）	3-2-5-5
						法長 厚さ(石積・張)	200m又は1施工箇所に1回（施工後） ただし、根入部は40mに1回	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	2	アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-7
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-7
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	6	アスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-7
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	2	半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	4	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-8
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-8
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	6	半たわみ性舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-8
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						浸透性シルク注入状況	400mに1回 〔注入時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-9
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	5	排水性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-9
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	6	排水性舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-9
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-10
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-10
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-11
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	2	グースアスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-11
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	3	グースアスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-11
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3	2	6	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3	2	6	12	3	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-12
						ダックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	3-2-6-12
						スリッパバー、 タイヤバー寸法、 位置	80mに1回 〔据付後〕	
						鉄網寸法 位 置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						目地段差	1工事に1回	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	7	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-12
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」より「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-12
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3	2	6	12	10	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-12
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	
3	2	6	12	11	コンクリート舗装工(連続鉄筋コンクリート舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	3-2-6-12
						鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕	
						横膨張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所(1回) 〔据付後〕	
						縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部 タイプ寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						目地段差	1工事に1回	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-13
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-13
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-14
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	5	ブロック舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	3-2-6-14
						ダックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	2	6	15		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1施工箇所1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 〔施工後〕	3-2-6-15
3	2	6	16		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	3-2-6-16
3	2	6	17		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所1回 〔施工後〕	3-2-6-17
						タックコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						整正状況	400mに1回 〔施工後〕	
3	2	7	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回〔施工後〕	3-2-7-2
3	2	7	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	3-2-7-3
3	2	7	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	3-2-7-5

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	2	7	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所に1回（施工後）	3-2-7-6
3	2	7	8		バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーバードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ	200㎡又は1施工箇所に1回（打込み前後）	3-2-7-7 3-2-7-8
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1施工箇所に1回（打込後）	
						砂の投入量	全数量（打込前後）	
3	2	7	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕	3-2-7-9
						深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕	
							ただし、(スラリー攪拌工)において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 第8編 固結工(スラリー攪拌工)・バーチカルドレーン工」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。	
3	2	7	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m3～4,000m3につき1回、又は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕	3-2-7-9
							ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。	
3	2	10	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所に1回（打込前）	3-2-10-5
						数量	全数量（打込後）	
3	2	10	5	2	土留・仮締切工(アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕	3-2-10-5
						配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	2	10	5	3	土留・仮締切工(連節ブロック張り工)	法長	200m又は1施工箇所1回 ただし、根入部は40mに1回	3-2-10-5
3	2	10	5	4	土留・仮締切工(締切盛土)	天端幅 法長	250m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	3-2-10-5
3	2	10	5	5	土留・仮締切工(中詰盛土)	出来ばえ	250m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	3-2-10-5
3	2	10	9		地中連続壁工(壁式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	3-2-10-9
3	2	10	10		地中連続壁工(柱列式)	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	3-2-10-10
3	2	10	22		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工に準ずる	3-2-10-22

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	2	12	1	1	鑄造費(金属支承工)	製作状況	適宜 (製作中)	3-2-12-1
3	2	12	1	2	鑄造費(大型ゴム支承工)	製作状況	適宜 (製作中)	3-2-12-1
3	2	12	1	3	仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 (原寸時)	3-2-12-1
						製作状況	適宜 (製作中)	
3	2	12	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1施工箇所1回 〔仮組立時〕	3-2-12-1
3	2	12	3	1	桁製作工(仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 (原寸時)	3-2-12-3 ※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略
						製作状況	適宜 (製作中)	
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 (仮組立時)	
3	2	12	3	2	桁製作工(仮組立検査を実施しない場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 (原寸時)	3-2-12-3
						製作状況	適宜 (製作中)	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3	2	12	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1基に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	3-2-12-3
3	2	12	4		検査路製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-2-12-4
						製作状況	適宜〔製作中〕	
3	2	12	5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-2-12-5
						製作状況	適宜〔製作中〕	
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	
3	2	12	6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-2-12-6
						製作状況	適宜〔製作中〕	
3	2	12	7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-2-12-7
						製作状況	適宜〔製作中〕	
3	2	12	8		アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	3-2-12-8

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	9		プレビュー用桁製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-2-12-9
						製作状況	適宜〔製作中〕	
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	10		鋼製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	3-2-12-10
						製作状況	適宜〔製作中〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	11		工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量〔使用前後〕	3-2-12-11
						素地調整状況 (塗替)	部材別〔施工前後〕	
						塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	13 橋梁架設工			架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回〔架設中〕	3-2-13
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕	3-2-14-2
						土羽土の厚さ	200m又は1施工箇所1回〔施工中〕	
						法長	200m又は1施工箇所1回〔施工後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m又は1施工箇所1回〔清掃後〕	3-2-14-2
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m又は1施工箇所1回〔吹付前〕	
						厚さ(検測孔)	200mf又は1施工箇所1回〔吹付後〕	
						法長	200m又は1施工箇所1回〔施工後〕	
						材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m又は1施工箇所1回（清掃後）	3-2-14-3
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m又は1施工箇所1回（吹付前）	
						法長	200m又は1施工箇所1回（施工後）	
						厚さ(検測孔)	200㎡又は1施工箇所1回（吹付後）	
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所1回（施工後） ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	3-2-14-4
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	4	2	法枠工(プレキャスト法枠工)	法長	200m又は1施工箇所1回（施工後）	3-2-14-4
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工	6		アンカー工	削孔深さ	1施工箇所1回 〔削孔後〕	3-2-14-6
						配置誤差	1施工箇所1回 〔施工後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所1回（施工中） ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 1工事に1回	3-2-15-1
						厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 1工事に1回 〔型枠取外し後〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	15 擁壁工	2		プレキャスト擁壁工	据付状況	200m又は1施工箇所1回（埋戻し前）	3-2-15-2

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
3 土木工事 共通編	2 一般施 工	15 擁壁工	3		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工 法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補 強土工法)	高さ 鉛直度	120m又は1施工箇所1回 (施工後)	3-2-15-3
3 土木工事 共通編	2 一般施 工	15 擁壁工	4		井桁ブロック工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所1回 (施工中)	3-2-15-4
						法長 厚さ	200m又は1施工箇所1回 (施工後)	
3 土木工事 共通編	2 一般施 工	16 浚渫工	3		浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラブ船) (バックホウ浚渫船)	運転状況	1施工箇所1回 (施工後)	3-2-16-1
3 土木工事 共通編	2 一般施 工	18 床版工	2		床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効 高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1スパンに1回 〔打設前後〕	3-2-18-1

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
6 河川編	1 築堤・護岸	7 法覆護岸工	4		護岸付属物工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-1-7-4
6 河川編	1 築堤・護岸	10 水制工	8		杭出し水制工	径 杭長	1施工箇所に1回 〔打込み前〕	6-1-10-8
						幅 方向	1施工箇所に1回 〔施工後〕	
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	3		配管工	配管状況	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-1-13-3
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-1-13-4
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	6	1	函渠工(本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	6-3-5-6
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	120m又は1施工箇所に1回 〔巻立前〕	6-3-5-6
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	6-3-5-7

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管本体工	8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	6-3-5-8
6 河川編	4 水門	6 水門本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	6-4-6-7 6-4-6-8 6-4-6-9 6-4-6-10 6-4-6-11
6 河川編	4 水門	9 鋼管理橋上部工	10	1	支承工(鋼製支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	6-4-9-10
6 河川編	4 水門	9 鋼管理橋上部工	10	2	支承工(ゴム支承)	支承取付状況	1スパンに1回 〔取付後〕	6-4-9-10
6 河川編	4 水門	12 橋梁付属物工(鋼管理橋)	4		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1施工箇所1回 〔施工後〕	6-4-12-4
6 河川編	4 水門	12 橋梁付属物工(鋼管理橋)	5 6		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕	6-4-12-5 6-4-12-6

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
6 河川 編	4 水門	12 橋梁付 属物工 の鋼管 埋橋工	7		検査路工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-4-12-7
6 河川 編	5 堰	6 可動堰 本体工	13 14		開門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-5-6-13 6-5-6-14
6 河川 編	5 堰	7 固定堰 本体工	8 9 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-5-7-8 6-5-7-9 6-5-7-10
6 河川 編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本体工	厚さ 幅 高さ	200m又は測定箇所毎に1回 〔施工後〕	6-5-8-3
6 河川 編	5 堰	9 管理橋 下部工	2		管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-5-9-2
6 河川 編	6 排水機 場	4 機場本 体工	6		本体工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-6-4-6
6 河川 編	6 排水機 場	4 機場本 体工	7		燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-6-4-7
6 河川 編	6 排水機 場	5 沈砂池 工	7		コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	6-6-5-7

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6		本体工(床固め本体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	6-7-4-6
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8		水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	6-7-4-8
6 河川編	7 床止め・床固め	5 床固め工	6		側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	6-7-5-6

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	5 護岸基礎工	5	場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外後〕	7-1-5-5
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	5 護岸基礎工	6	海岸コンクリートブロック工	数量 ブロックの形状 寸法 据付状況	全数量（製作後） 形状寸法変わる毎に1回（製作後） 200m又は1施工箇所に1回（施工後）	7-1-5-6
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	6 護岸工	4	海岸コンクリートブロック工	数量 ブロックの形状 寸法 法長 厚さ	全数量（製作後） 形状寸法変わる毎に1回（施工後） 200m又は1施工箇所に1回（施工後）	7-1-6-4
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	6 護岸工	5	コンクリート被覆工	法長 厚さ 裏込材厚	200m又は1施工箇所に1回（施工後） 40m又は1施工箇所に1回（施工中）	7-1-6-5
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	8 天端被覆工	2	コンクリート被覆工	幅 厚さ 基礎厚	200m又は1施工箇所に1回（施工後） 40m又は1施工箇所に1回（施工中）	7-1-8-2
7	河川海岸編	1 堤防・護岸	9 波返工	3	波返工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回（施工後）	7-1-9-3
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	4 突堤基礎工	4	捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所に1回（施工後）	7-2-4-4
7	河川海岸編	2 突堤・人工岬	4 突堤基礎工	5	吸出し防止工	幅	200m又は1施工箇所に1回（施工後）	7-2-4-5

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
7	河川 海岸 編	2	5	2	捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所に1回（施工後）	7-2-5-2
7	河川 海岸 編	2	5	5	海岸コンクリートブロック工	数量 ブロックの形状 寸法 天端幅	全数量（製作後） 形状寸法変わる毎に1回（製作後） 200m又は1施工箇所に1回（施工後）	7-2-5-5
7	河川 海岸 編	2	5	9	石枠工	厚さ 高さ 間詰石状況	200m又は1施工箇所に1回（施工後） 1施工箇所に1回（施工後）	7-2-5-9
7	河川 海岸 編	2	5	10	場所打コンクリート工	幅 高さ	200m又は1施工箇所に1回（施工後）	7-2-5-10
7	河川 海岸 編	2	5	11	ケーソン工(ケーソン工製作)	壁厚 幅 高さ 長さ 底版厚さ ブーディング高さ	1基に1回（製作後）	7-2-5-11
7	河川 海岸 編	2	5	11	ケーソン工(ケーソン工据付)	据付状況	1施工箇所に1回（据付後）	7-2-5-11
7	河川 海岸 編	2	5	11	ケーソン工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所に1回（施工後）	7-2-5-11
7	河川 海岸 編	2	5	12	セルラー工(セルラー工製作)	壁厚 幅 高さ	1基に1回（製作後）	7-2-5-12

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第7編 河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	2	セルラー工(セルラー工据付)	据付状況	1施工箇所1回 〔据付後〕	7-2-5-12
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	3	セルラー工(突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	1施工箇所1回 〔施工後〕	7-2-5-12
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	2		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	7-2-6-2
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	3		根固めブロック工	数量 ブロックの形状 寸法	全数量 〔製作後〕 形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕	7-2-6-3
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	7 消波工	3		消波ブロック工	数量 ブロックの形状 寸法	全数量 〔製作後〕 形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕	7-2-7-3
7 河川 海岸 編	3 海城堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）	3 海城堤基礎工	3		捨石工	法長 天端幅	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	7-3-3-3

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第8編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	8-1-3-4
						製作状況	適宜〔製作中〕	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	月に1回〔施工中〕	8-1-8-4
						打継目処理 打込・養生	4リフトに1回 〔施工中〕	
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	8-1-8-6
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	8-1-8-8
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本体工(不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	8-1-9-5
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	2	鋼製堰堤本体工(透過型)	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	8-1-9-5
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	6		鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	8-1-9-6

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第8編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	幅 高さ 厚さ	200m又は測定箇所毎に1回〔施工後〕	8-2-5-8
8 砂防編	3 斜面対策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120m又は1施工箇所に1回〔型枠取外し後〕	8-3-6-4
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1施工箇所に1回〔施工後〕	8-3-7-4
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	5		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1施工箇所に1回〔施工後〕	8-3-7-5
8 砂防編	3 斜面対策	9 抑止杭工	6		合成杭工	偏心量	1施工箇所に1回〔施工後〕	8-3-9-6
						数量	全数量〔打込後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第9編 ダム編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(本体)	天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	9-1-4
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(水叩)	ジョイント間隔 幅 長さ 打継目処理	測定箇所毎に1回 〔施工後〕 奇数ブロック毎に岩着部中間リフトに1回	9-1-4
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(副ダム)	ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	9-1-4
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(導流壁)	ジョイント間隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	9-1-4
9 ダム 編	2 フィ ルダム	4 盛立 工	5		コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	9-2-4-5
9 ダム 編	2 フィ ルダム	4 盛立 工	6		フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	9-2-4-6

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第9編 ダム編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
9 ダム 編	2 フィル ダム	4 盛立 工	7		ロックの盛立	外側境界線	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	9-2-4-7
9 ダム 編	2 フィル ダム				フィルダム(洪水吐)	ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕	9-2
9 ダム 編	3 基礎 グラウ チング	3 ボー リング 工			ボーリング工	ボーリング状況 水押テスト状況 グラウト状況 深度 配置誤差	ブロック毎に1回 〔施工中〕	9-3-3
						コアー	地質変化毎全数量 〔抜取後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 道路 編	1 道路 改良	3 工場 製作 工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1施工箇所に1回 〔製作後〕	10-1-3-2
10 道路 編	1 道路 改良	9 カル バート 工	6		場所打函渠工	厚さ 幅(内空) 高さ	100m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	10-1-9-6
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	4		落石防止網工	幅	1施工箇所に1回 〔施工後〕	10-1-11-4
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	5		落石防護柵工	高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	10-1-11-5
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	10-1-11-6
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1施工箇所に1回 〔施工後〕	10-1-11-7
10 道路 編	1 道路 改良	12 遮音 壁工	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回(施工前は必要に 応じて)〔施工前後〕	10-1-12-4
10 道路 編	1 道路 改良	12 遮音 壁工	5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	10-1-12-5

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 道路編	2 舗装	4 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	10-2-4
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕	
10 道路編	2 舗装	4 舗装工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	10-2-4
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	
10 道路編	2 舗装	5 排水構造物工（路面排水工）	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	200m又は1施工箇所（1回）〔施工中〕	10-2-5-9
10 道路編	2 舗装	7 路掛版工	4		路掛版工 （コンクリート工） （ラバーシュー） （アンカーボルト）	<コンクリート> 各部の厚さ	1施工箇所（1回）〔施工後〕	10-2-7-4
						各部の長さ		
						<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ		
10 道路編	2 舗装	9 標識工	4	1	大型標識工（標識基礎工）	<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長	基礎タイプ毎5箇所（1回）〔施工後〕	10-2-9-4
						幅		
						高さ		
10 道路編	2 舗装	9 標識工	4	2	大型標識工（標識柱工）	設置高さ	1施工箇所（1回）	10-2-9-4
10 道路編	2 舗装	12 道路路付属施設工	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1施工箇所（1回）〔施工後〕	10-2-12-5

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 道路編	2 舗装	12 道路付 属施設工	5	2	ケーブル配管工(ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所1回〔施工後〕	10-2-12-5
10 道路編	2 舗装	12 道路付 属施設工	6		照明工(照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	10-2-12-6
10 道路編	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	1脚に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	10-3-3-3
						製作状況	適宜〔製作中〕	
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	
10 道路編	3 橋梁下部	6 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 (型枠取外し後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	10-3-6-8
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工(張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 (型枠取外し後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	10-3-7-9
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 (型枠取外し後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	10-3-7-9
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工(I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 (型枠取外後)	10-3-8-9
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工(門型)	幅 高さ	全数量 (型枠取外後)	10-3-8-9

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回〔架設中〕	10-3-8-10
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回〔架設中〕	10-3-8-10
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所1回 〔施工後〕	10-3-8-11
10 道路編	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	10-4-3-9
						製作状況	適宜〔製作中〕	
10 道路編	4 鋼橋上部	8 橋梁付属物工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の 削孔長	1施工箇所に1回(削孔後)	10-4-8-3
10 道路編	5 コンクリート橋上部	6 プレキャストコンクリート橋工	2		プレキャストコンクリート橋製作工(現場)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	10-5-6-2
						製作状況	適宜〔製作中〕	
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕	
						幅 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
10 道路編	6 トンネル (N A T M)	4 支保工	3		吹付工	岩質	岩質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	10-6-4-3
						湧水状況	適宜〔掘削中〕	
						吹付面の清掃状況	80mに1回 〔清掃後〕	
						金網の重ね合せ状況	80mに1回 〔2次吹付前〕	
						吹付け厚さ(検測孔)	80mに1回 〔吹付後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	4 支 保 工	4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は80mに1断面〔穿孔中〕	10-6-4-4
						ロックボルト注入 状況	施工パターン毎又は80mに1断面〔注入中〕	
						ロックボルト打設 後の状況	施工パターン毎又は80mに1断面〔打設後〕	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	3		覆工コンクリート工	覆工 (巻立空間)	1セントルに1回 〔型枠組立後〕	10-6-5-3
						覆工 (厚さ)	1セントルに1回 〔型枠取外し後〕	
						幅 高さ	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	5		床版コンクリート工	幅 厚さ	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	10-6-5-5
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	6 イン バ ー ト 工	4		インバート本体工	インバート (厚さ)	40m又は1施工箇所1回 〔埋戻し前〕	10-6-6-4
						幅(全幅)	200m又は1施工箇所1回 〔施工後〕	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	8 坑 門 工	4		坑門本体工	幅 高さ	1施工箇所1回 〔埋戻し前〕	10-6-8-4

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 道路 編	6 トンネル (N A T M)	8 坑門工	5		明り巻工	覆工 (巻立空間)	40m又は1施工箇所に1回〔型枠組立後〕	10-6-8-5
						覆工 (厚さ)	40m又は1施工箇所に1回〔型枠取外し後〕	
						幅（全幅） 高さ(内法)	200m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	
10 道路 編	11 共同溝	6 現場打構築工	2		現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	10-11-6-2
10 道路 編	11 共同溝	6 現場打構築工	4		カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1施工箇所に1回 〔設置後〕	10-11-6-4
10 道路 編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	1	防水工(防水)	幅	100m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	10-11-6-5
10 道路 編	11 共同溝	6 現場打ち構築工	5	2	防水工(防水保護工)	厚さ	100m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	10-11-6-5
10 道路 編	11 共同溝	6 現場打構築工	5	3	防水工(防水壁)	高さ 幅 厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	10-11-6-5
10 道路 編	11 共同溝	7 プレキャスト構築工	2		プレキャスト躯体工	据付状況	200m又は1施工箇所に1回〔埋戻し前〕	10-11-7-2

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10	12	5	2		管路工(管路部)	敷設状況	100m又は1施工箇所1回（敷設後）	10-12-5-2
10	12	5	3		プレキャストボックス工(特殊部)	据付状況	100m又は1施工箇所1回（据付後）	10-12-5-3
10	12	5	4		現場打ちボックス工(特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	100m又は1施工箇所1回 （型枠取外し後）	10-12-5-4
10	12	6	2		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所1回 （型枠取外し後）	10-12-6-2
10	14	4	5		切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所1回 （施工後）	10-14-4-5
						タックコート	各層毎に1回 （散布時）	
						整正状況	400mに1回 （施工後）	
10	14	4	7		路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎400mに1回 （施工中）	10-14-4-7
						整正状況 厚さ	各層毎400mに1回 （整正後）	
10	14	4	11		グレーピング工	出来ばえ	施工日に1回 （施工前後）	10-14-4-11
10	16	3	4		桁補強材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回（原寸時）	10-16-3-4
						製作状況	適宜（製作中）	
						仮組立寸法 （撮影項目は適宜）	1橋に1回又は1工事に1回（仮組立時）	
10	16	22	4		落橋防止装置工	長さ、径、材質	1橋に1回又は1工事に1回 （材料搬入時）	10-16-22-4
						出来ばえ	適宜（施工中）	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

撮影箇所一覧表（その他）

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
その他					舗装工事関係	橋面防水工	塗布又は設置状況 1 施工箇所に1 回 〔 施工中〕	その他	
					ダム工事関係	仮排水路	厚さ、高さ 100m 又は1 施工箇所に1 回 〔 型枠取外し後〕	その他	
						仮締切(土石)	巻出し 厚 100m 又は1 施工箇所に1 回 〔 巻出し 時〕	その他	
						転圧状況	転圧機械が変わる 毎に1 回 〔 締固 時〕	その他	
						仮締切(コンクリート)	厚さ、高さ 100m 又は1 施工箇所に1 回 〔 型枠取外し後〕	その他	
					基礎掘削	組合せ機械	組合せ機械変わる 毎に1 回 〔 施工 中〕	その他	
						土質、岩質	土質、岩質変わる 毎に1 回 〔 掘削 中〕	その他	
						岩盤清掃状況	1 施工箇所に1 回 〔 清掃前後〕	その他	
					堤体コンクリート 打設	骨材採取製造、コンクリート 製造、運搬	月に1 回 〔 施工中〕	その他	
						打継目処理、打込養生	8 リフトに1 回 〔 施工中〕	その他	
					堤体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、岩着及び溶接	各ブロック 毎、先行ブロックについて4 リフトに1 回 〔 据付後〕	その他	
					堤体排水工	排水孔の位置、箱抜断面、排水 管取付箇所	各ブロック 毎、先行ブロックについて4 リフトに1 回 〔 据付後〕	その他	
					堤体冷却工	配管間隔、通水 状況	5 リフトに1 回 〔 据付後〕	その他	
					堤体埋設計器	器種、位置、間 隔	1 施工箇所に1 回 〔 据付後〕	その他	
					トンネル関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ 1 施工箇所に1 回 〔 埋戻し 前〕	その他	
						トンネル(矢板工法)	岩質	岩質の変わる 毎に1 回 〔 掘削中〕	その他
							湧水状況	適宜 〔 掘削中〕	その他
							埋設支保工(建込間隔、寸法、基数)	100m 又は1 施工箇所に1 回 〔 建込後〕	その他
							湧水処理工設置 状況	全数量 〔 設置後〕	その他

撮影箇所一覧表（出来形管理）

撮影箇所一覧表（その他）

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
その他					トンネル(矢板工法)	集水渠(幅、高さ、位置)	100m 又は1 施工箇所に1 回〔 設置後〕	その他
						地下排水工(管 接合据付状況)		
						地下排水工 (フィルター厚 さ)	100m 又は1 施工箇所に1 回 〔 投入前後〕	その他
						矢板設置状況	岩質の変わる 毎に1 回 〔 設置後〕	その他
						グラウト 材料使用 量	全数量 〔 使用前後〕	その他
					シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎に1 回 〔 掘削中〕	その他
						セグメント 組立 状況	1 工事に1 回 〔 組立後〕	その他
						二次覆工(セグ メント 清掃状 況)	1 工事に1 回 〔 清掃後〕	その他
						二次覆工の厚さ	1 スパンに1 回 〔 型枠取外し 後〕	その他
				維持修繕工関係	アスファルト 舗装	打換パッチング	施工日に1 回 〔 施工前後〕	その他
					コンクリート 舗装	目地掃除	3,000㎡に1 回 〔 施工前後〕	その他
						目地充填	3,000㎡に1 回 〔 施工後〕	その他
						注入工、削孔状 況(位置、間 隔)	2,000㎡に1 回 〔 削孔後〕	その他
						注入工、注入圧	2,000㎡に1 回 〔 注入時〕	その他
						目地亀裂防止 材、張付け状況	3,000㎡に1 回 〔 張付け後〕	その他
						局部打換、各層 厚さ	各層毎100mに1 回又は1 施工箇所に1 回 〔 施工前後〕	その他
					路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1 回又は1 施工箇所に1 回 〔 施工後〕	その他
					道路除草	出来ばえ	5 kmに1 回(1 回刈毎) 〔 施工前 後〕	その他
					路肩整正	出来ばえ	1 kmに1 回	その他
					新設、更新、修理防護柵 類	出来ばえ	1 施工箇所に1 回(施工前は必要に応じ て) 〔 施工前後〕	その他

撮影箇所一覧表（出来形管理）

撮影箇所一覧表（その他）

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
その他				維持修繕工関係	新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	その他	
					新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5カ所に1回(施工前は必要に応じて)〔施工前後〕	その他	
					視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回〔施工後〕	その他	
					清掃(路面、標識、側溝、集水溝)	出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕	その他	
					区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回〔施工前後〕	その他	
						材料使用量	全数量〔施工前後〕	その他	
					街路樹植樹	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	その他	
					街路樹補強補植	出来ばえ	適宜〔施工前後〕	その他	
					街路樹剪定	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工前後〕	その他	
					街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回〔施工中〕	その他	
					街路樹雪囲	出来ばえ	適宜〔施工後〕	その他	
					排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 施工中	その他	
					凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回 施工中	その他	
						材料使用量	全数量〔施工前後〕	その他	
					河川除草	出来ばえ	1kmに1回(1回刈毎)〔施工前後〕	その他	
					応急処置	処理の状況	その都度〔施工前後〕	その他	
					鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、継手寸法	打設ロット 毎に1回又は1施工箇所に1回〔組立後〕	その他
						コンクリート 打設	打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に1回〔施工時〕	その他
						養生	養生状況	工種種別毎に1回、養生方法毎に1回〔養生時〕	その他

撮影箇所一覧表（出来形管理）

撮影箇所一覧表（その他）

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
その他					管体基礎工 （砂基礎及び埋戻等）	基礎、埋戻等の厚さ、幅、まき出し、締固め状況等	施工延長おおむね50～100mにつき1箇所割合で撮影する。 上記未満の2箇所撮影する。	その他

2－5．デジタル写真管理情報基準

デジタル写真管理情報基準（案）

－ 目 次 －

1	適用	1
2	フォルダ構成	1
3	写真管理項目	4
4	ファイル形式	6
5	ファイル命名規則	7
6	写真編集等	8
7	有効画素数	8
8	撮影頻度と提出頻度の取り扱い	8
9	その他留意事項	8
付属資料 1 写真管理ファイルの DTD		付 1-1
付属資料 2 写真管理ファイルの XML 記入例		付 2-1

1 適用

「デジタル写真管理情報基準（案）」は、写真等(工事・測量・調査・地質・広報・設計)の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたものである。

2 フォルダ構成

写真の原本を電子媒体で提出する場合のフォルダ構成は、業務では図 2-1、工事では図 2-2とする。

- ・「PHOTO」フォルダの直下に写真管理ファイルと「PIC」及び「DRA」のサブフォルダを置く。なお、DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。
- ・「PIC」とは、撮影した写真ファイルを格納するサブフォルダを示し、「DRA」とは、参考図ファイルを格納するサブフォルダを示す。
- ・参考図とは、撮影位置、撮影状況等の説明に必要な撮影位置図、平面図、凡例図、構造図等である。
- ・参考図がない場合は「DRA」サブフォルダは作成しなくてもよい。
- ・フォルダ名称は半角英大文字とする。
- ・写真フォルダ(PIC)及び参考図フォルダ(DRA)直下に直接対象ファイルを保存し、階層分けは行わない。

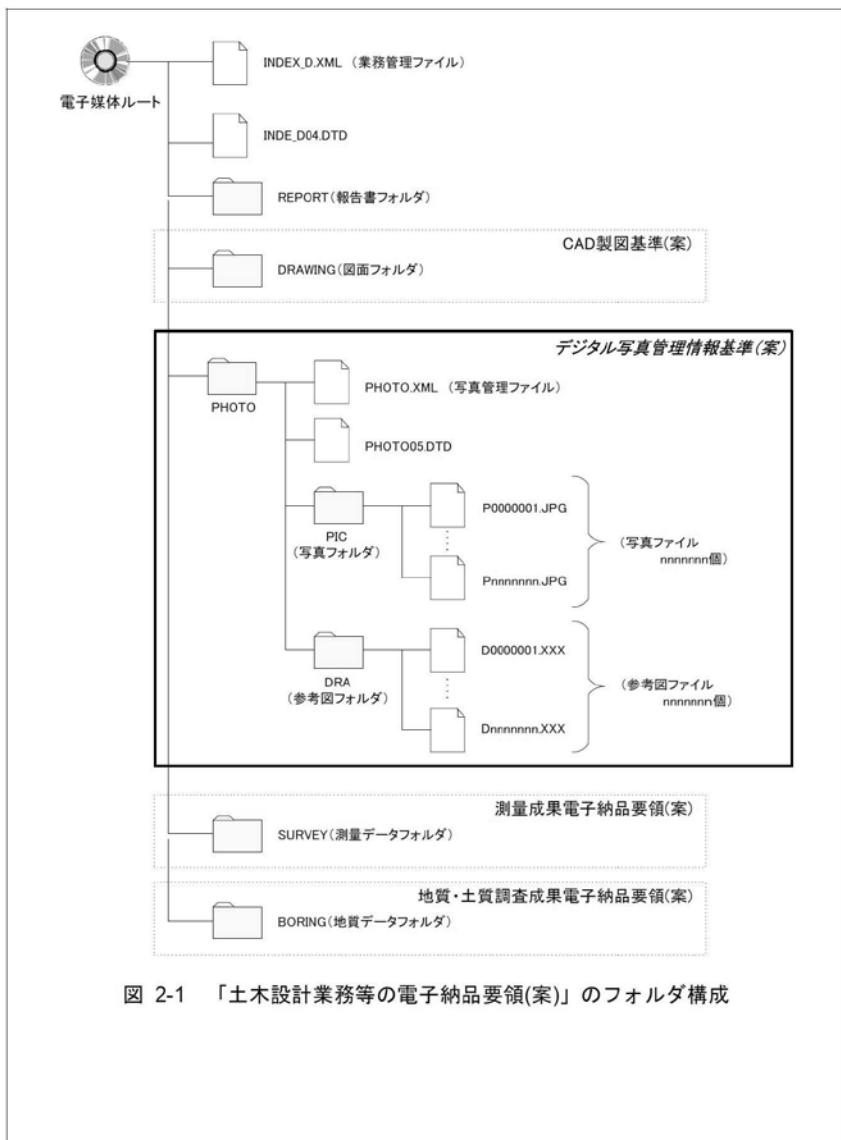


図 2-1 「土木設計業務等の電子納品要領(案)」のフォルダ構成

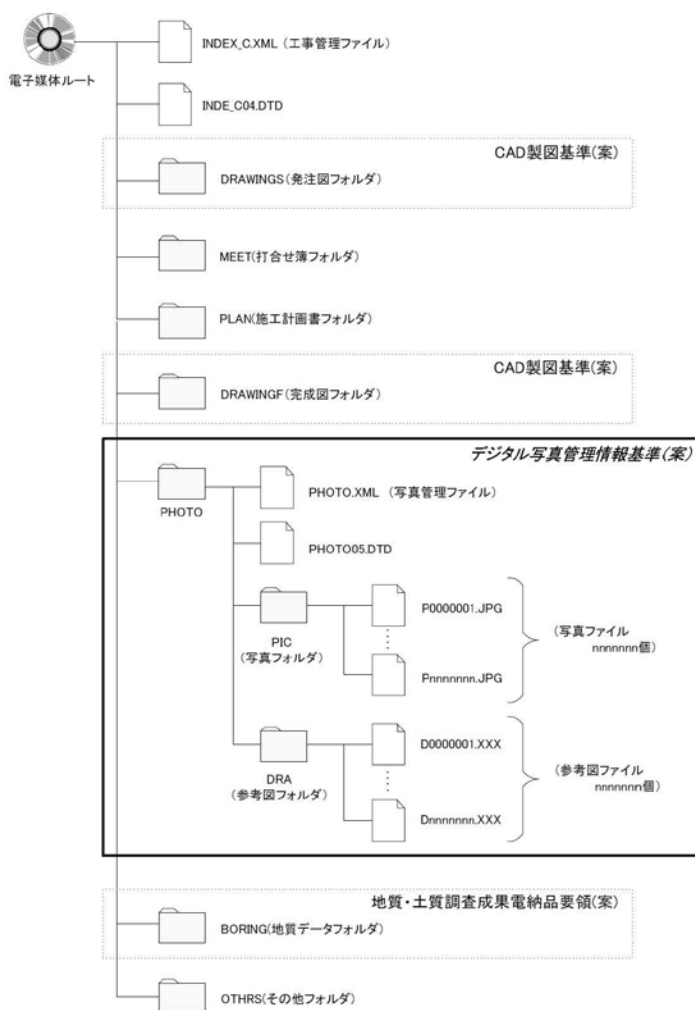


図 2-2 「工事完成図書の電子納品要領(案)」のフォルダ構成

3 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)に記入する写真管理項目は下表に示すとおりである。

表 3-1 写真管理項目 (1/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称 (PHOTO/PICで固定) を記入する。	半角英大文字	9 固定	▲	○	
	参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称 (PHOTO/DRAで固定) を記入する。	半角英大文字	9 固定	▲	○	
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木 200805-01」で固定)を記入する。 (分野: 土木、西暦年: 2008、月: 05、版: 01)	全角文字 半角英数字	30	▲	○	
写真情報 ※	写真ファイル情報	シリアル番号	写真連し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けしてもよい。123枚目を、「000123」の様に0を付けて記入してはいけない。	半角数字	7	▲	○
		写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。	半角英大文字	12 固定	▲	○
		写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
		メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば、全て「1」となる。	半角数字	8	□	○
	撮影工程区分	写真-大分類	写真を撮影した業務の種別を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。	全角文字 半角英数字	8	□	○
		写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「施工前及び完成写真」(既済部分写真等を含む)「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「事故写真」「その他」(公害、環境、補償等)の区分のいずれかを記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事精算体系のレベル2「工種」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とするが、任意記入可とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事精算体系のレベル3「種別」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とするが、任意記入可とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事精算体系のレベル4「細別」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とするが、任意記入可とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		工種区分予備	工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	□	△
		付加情報※	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	半角英大文字	12	▲
	参考図ファイル日本語名		参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	○
	参考図タイトル		参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に關し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	○
	付加情報予備		参考図、撮影箇所等に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	□	△
撮影情報	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	○	
	撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。(CCYY: 西暦の年数、MM: 月、DD: 日) 例)平成20年12月3日 →2008-12-03	半角数字 (HYPHEN-MINUS)	10 固定	□	○	

表 3-1 写真管理項目 (2/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報 ※	代表写真	写真管理基準(案)の撮影箇所一覧表に示される提出頻度が不要以外の写真の中から工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	□	○
	提出頻度写真	写真管理基準(案)の提出頻度に基づく写真である場合、「1」を記入する。それ以外の場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	□	○
	施工管理値	黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	○
	請負者説明文	請負者側で検査立会者、特筆事項等があれば記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
ソフトウェア力用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 □：電子成果品作成者が記入する項目
▲：電子成果品作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 ○：必須記入。
○：条件付き必須記入。(データが分かる場合は必ず入力する)
△：任意記入。

※複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

【解説】

- 写真管理項目は、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目である。
- 写真管理項目のデータ表現の定義は、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」及び「工事完成図書の電子納品要領(案)」の使用文字に従う。
- 付属資料1に管理ファイルのDTD、付属資料2に管理ファイルのXML記入例を示す。
- 工種、種別、細別の各項目は、新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。
- 写真区分ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真区分ごとの記入可否の目安は、以下のとおりである。

写真区分	工 種	種 別	細 別
着事前及び完成写真	×	×	×
施工状況写真	△	△	△
安全管理写真	△	×	×
使用材料写真	△	△	△
品質管理写真	○	×	×
出来形管理写真	○	○	○
災害写真	×	×	×
その他	×	×	×

(○：記入、△：記入可能な場合は記入、×：記入は不要とするが、任意の記入也可)

- 「代表写真」の項目には、当該工事の概要が把握できる、または重要な写真である場合に「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を記入する。

4 ファイル形式

ファイル形式は、以下のとおりとする。

- ・ 写真管理ファイルのファイル形式はXML形式(XML1.0に準拠)とする。
- ・ 写真ファイルの記録形式はJPEGとし、圧縮率、撮影モードは監督員と協議の上決定する。
- ・ 参考図ファイルの記録形式はJPEGもしくはTIFFとする。JPEGの圧縮率、撮影モードは監督員と協議の上決定する。TIFFは図面が判読できる程度の解像度とする。
- ・ 写真管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合はXSLに準じる。

【解説】

- ・ 本基準「2フォルダ構成」に示したように、写真管理ファイルのファイル形式はXML形式とする。
- ・ 写真管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSLに準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、管理ファイルと同じ場所に格納する。
- ・ 参考図ファイルの記録形式は、監督員の承諾を得た上で、JPEG、TIFF以外の形式とすることができる。

5 ファイル命名規則

- ・ ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。
- ・ ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。
- ・ 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とし、写真管理ファイルのDTDは「PHOTO05.DTD」(05は版番号)とする。
- ・ 写真管理ファイルのスタイルシートのファイル名は「PHOTO05.XSL」とする。
- ・ 写真ファイルの命名規則は次図の通り。

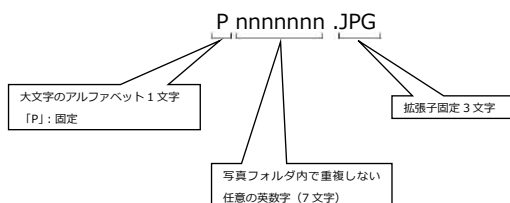


図 5-1 写真ファイルの命名規則

- ・ 参考図ファイルの命名規則は次図の通り。

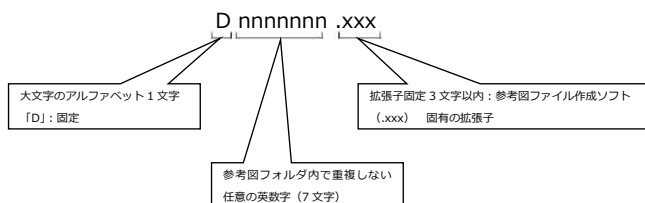


図 5-2 参考図ファイルの命名規則

【解説】

ファイル名の文字数は、半角(1バイト文字)で8文字以内、拡張子3文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角(1バイト文字)で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番することを基本とする。ファイル名は連番により、ファイルを区別することを基本とするが、欠番があっても構わない。

6 写真編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

7 有効画素数

有効画素数は、黒板の文字が確認できることを指標とする。

【解説】

- ・ 有効画素数は、黒板の文字及び撮影対象が確認できることを指標(100万画素程度)として設定する。
- ・ 不要に有効画素数を大きくすると、ファイル容量が大きくなり、電子媒体が複数枚になるとともに、操作性も低くなるので、適切な有効画素数を設定する。

8 撮影頻度と提出頻度の取り扱い

写真の原本を電子媒体で提出する場合は、写真管理基準に示される撮影頻度に基づくものとする。

9 その他留意事項

本基準に記載されていない電子納品に関わる事項は、原則として「電子納品運用ガイドライン(和歌山県)」に従う。

付属資料1 写真管理ファイルのDTD

成果品の電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)の
DTD(PHOTO05.DTD)を以下に示す。なお、DTDファイルは、国土交通省のホ

ームページ (<http://www.cals-ed.go.jp/>) から入手できる。

```
<!--PHOTO05.DTD / 2008/05 -->
<!ELEMENT photodata (基礎情報,写真情報+,ソフトウェア用 TAG*)>
<!ATTLIST photodata DTD_version CDATA #FIXED "05">

<!-- 基礎情報 -->
<!ELEMENT 基礎情報 (写真フォルダ名,参考図フォルダ名?,適用要領基準)>
  <!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 参考図フォルダ名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>

<!-- 写真情報 -->
<!ELEMENT 写真情報 (写真ファイル情報,撮影工種区分,付加情報*,撮影情報,代表写真,提出頻度写真,施工管理値?,請負者説明文?)>
  <!ELEMENT 代表写真 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 提出頻度写真 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 施工管理値 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>

<!-- 写真ファイル情報 -->
<!ELEMENT 写真ファイル情報 (シリアル番号,写真ファイル名,写真ファイル日本語名?,メディア番号)>
  <!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真ファイル名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真ファイル日本語名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT メディア番号 (#PCDATA)>

<!-- 撮影工種区分 -->
<!ELEMENT 撮影工種区分 (写真-大分類,写真区分?,工種?,種別?,細別?,写真タイトル,工種区分予備*)>
  <!ELEMENT 写真-大分類 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真区分 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工種 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 種別 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 細別 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 写真タイトル (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 工種区分予備 (#PCDATA)>

<!-- 付加情報 -->
<!ELEMENT 付加情報 (参考図ファイル名,参考図ファイル日本語名?,参考図タイトル,付加情報予備*)>
  <!ELEMENT 参考図ファイル名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 参考図ファイル日本語名 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 参考図タイトル (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 付加情報予備 (#PCDATA)>

<!-- 撮影情報 -->
<!ELEMENT 撮影情報 (撮影箇所?,撮影年月日)>
  <!ELEMENT 撮影箇所 (#PCDATA)>
  <!ELEMENT 撮影年月日 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>
```



図付 1-1 写真管理ファイルのDTDの構造

付属資料 2 写真管理ファイルの XML 記入例

成果品の電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)の記入例を以下に示す。なお、DTD ファイルは、国土交通省のホームページ

(<http://www.cals-ed.go.jp/>) から入手できる。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO05.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="PHOTO05.XSL" ?>
<photodata DTD_version="05">
  <基礎情報>
    <写真フォルダ名>PHOTO/PIC</写真フォルダ名>
    <参考図フォルダ名>PHOTO/DRA</参考図フォルダ名>
    <適用要領基準>土木 200805-01</適用要領基準>
  </基礎情報>
  <写真情報>
    <写真ファイル情報>
      <シリアル番号>1</シリアル番号>
      <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名>
      <写真ファイル日本語名>着事前 0001.JPG</写真ファイル日本語名>
      <メディア番号>1</メディア番号>
    </写真ファイル情報>
    <撮影工種区分>
      <写真-大分類>工事</写真-大分類>
      <写真区分>着事前及び完成写真</写真区分>
      <写真タイトル>着事前写真</写真タイトル>
      <工種区分予備>工種区分の特筆事項があれば記入する。(複数入力可)</工種区分予備>
    </撮影工種区分>
    <付加情報>
      <参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名>
      <参考図ファイル日本語名>平面図 00001.JPG</参考図ファイル日本語名>
      <参考図タイトル>平面図</参考図タイトル>
      <付加情報予備>付加情報の特筆事項があれば記入する</付加情報予備>
    </付加情報>
    <撮影情報>
      <撮影箇所>測点:1L</撮影箇所>
      <撮影年月日>2008-11-14</撮影年月日>
    </撮影情報>
    <代表写真>1</代表写真>
    <提出頻度写真>1</提出頻度写真>
    <請負者説明文>請負者側で検査立会者、特記事項等状況等、特筆事項があれば記入する。</請負者説明文>
  </写真情報>
  <写真情報>
    <写真ファイル情報>
      <シリアル番号>2</シリアル番号>
      <写真ファイル名>P0000002.JPG</写真ファイル名>
```

3 行目の (<?xml-stylesheet~) は、XML 文書の書式 (体裁) を指定する場合の宣言文。書式指定を宣言した場合、XSL ファイルを格納すること。
スタイルシートを利用しない場合は、当該 1 行を削除する。

写真管理項目の記入規則に基づき、赤文字の部分について内容を記入する。

<写真ファイル日本語名>施工状況写真 0001.JPG</写真ファイル日本語名>
<メディア番号>1</メディア番号>
</写真ファイル情報>
<撮影工種区分>
 <写真-大分類>工事</写真-大分類>
 <写真区分>施工状況写真</写真区分>
 <写真タイトル>掘削状況写真</写真タイトル>
</撮影工種区分>
<撮影情報>
 <撮影箇所>測点:1L</撮影箇所>
 <撮影年月日>2008-11-18</撮影年月日>
</撮影情報>
<代表写真>1</代表写真>
<提出頻度写真>1</提出頻度写真>
</写真情報>
<写真情報>
 <写真ファイル情報>
 <シリアル番号>3</シリアル番号>
 <写真ファイル名>P0000003.JPG</写真ファイル名>
 <写真ファイル日本語名>安全管理 0001.JPG</写真ファイル日本語名>
 <メディア番号>1</メディア番号>
 </写真ファイル情報>
 <撮影工種区分>
 <写真-大分類>工事</写真-大分類>
 <写真区分>安全管理写真</写真区分>
 <写真タイトル>安全訓練等の写真</写真タイトル>
 </撮影工種区分>
 <撮影情報>
 <撮影年月日>2008-11-21</撮影年月日>
 </撮影情報>
 <代表写真>0</代表写真>
 <提出頻度写真>0</提出頻度写真>
</写真情報>
<写真情報>
 <写真ファイル情報>
 <シリアル番号>4</シリアル番号>
 <写真ファイル名>P0000004.JPG</写真ファイル名>
 <写真ファイル日本語名>出来形 0001.JPG</写真ファイル日本語名>
 <メディア番号>1</メディア番号>
 </写真ファイル情報>
 <撮影工種区分>
 <写真-大分類>工事</写真-大分類>
 <写真区分>出来形管理写真</写真区分>
 <工種>舗装修繕工</工種>
 <種別>舗装打換え工</種別>
 <細別>下層路盤</細別>
 <写真タイトル>路盤(1 層目)出来形測定</写真タイトル>

<工種区分予備>工種区分の特筆事項があれば記入する。(複数入力可)</工種区分予備>
</撮影工種区分>
<付加情報>
 <参考図ファイル名>D0000002.JPG</参考図ファイル名>
 <参考図ファイル日本語名>横断図 00002.JPG</参考図ファイル日本語名>
 <参考図タイトル>横断図</参考図タイトル>
 <付加情報予備>付加情報の特筆事項があれば記入する</付加情報予備>
</付加情報>
<撮影情報>
 <撮影箇所>測点:1L</撮影箇所>
 <撮影年月日>2008-11-22</撮影年月日>
</撮影情報>
 <代表写真>1</代表写真>
 <提出頻度写真>1</提出頻度写真>
 <施工管理値>As 舗装工(下層路盤工): 設計寸法 400mm・実測寸法 405mm</施工管理値>
 <請負者説明文>請負者側で検査立会者、特記事項等状況等、特筆事項があれば記入する。</請負者説明文>
</写真情報>
 <ソフトメーカ用 TAG>ソフトウェアメーカが管理のために使用する。(複数入力可)</ソフトメーカ用 TAG>
</photodata>

2－6．デジタル工事写真の小黑板情報電子化基準

デジタル工事写真の黒板情報電子化（電子黒板）について

デジタル工事写真の黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の黒板情報電子化対象工事（以降、「対象工事」と称する）とすることができる。対象工事では、以下の１．から４．の全てを実施することとする。

１．対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、土木工事施工管理基準「2-4写真管理基準 3.(2)撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照すること。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

２．デジタル工事写真における黒板情報の電子的記入

受注者は、上記１の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。黒板情報の電子的記入を行う項目は、土木工事施工管理基準「2-4写真管理基準 3.(2)撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

３．黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、土木工事施工管理基準「2-4写真管理基準」及び「2-5デジタル写真管理情報基準」に準ずるが、上記２に示す黒板情報の電子的記入については、土木工事施工管理基準「2-4写真管理基準 5.写真の編集」及び「2-5デジタル写真管理情報基準 6.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

４．黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、上記２に示す黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者はURL（<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督員が確認することがある。